

府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会

検討結果報告書

モデル事業2「学校施設の更なる活用」

“教育機能と市民サービスを共に向上するための施設活用”

平成28年3月

目 次

はじめに	1
検討協議会の役割	2
第1章 検討に当たっての前提条件	3
1 府中市の公共施設マネジメントの取組	4
2 モデル事業2「学校施設の更なる活用」の枠組み	6
第2章 公共施設マネジメントの視点から見た対象施設の現状と課題	7
1 学校施設の現状	8
2 地域プールの現状	13
3 今後の課題	22
第3章 学校施設の活用状況	25
1 活用手法	26
2 学校開放	27
3 学校施設の複合化	33
第4章 学校施設の更なる活用に向けた方向性	39
1 取組全体の方向性	40
2 学校開放の方向性	41
3 学校施設の複合化の方向性	45
第5章 取組の着実な実行に向けて	47
1 取組の前提となる情報の共有	48
2 市と教育委員会の連携体制の構築	48
3 幅広い市民意見の確認	48
4 地域住民との協働	48
5 スピード感を持った取組の実行と改善	48

参考資料	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49
資料1	府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の設置等に関する規則	50
資料2	府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会委員	51
資料3	府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の検討過程	52
資料4	学校施設の更なる活用に関する市民アンケートの結果（概要）	53
資料5	プールの利用に関する児童生徒アンケートの結果の結果（概要）	74
資料6	用語集	94

はじめに

府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会は、府中市長からの依頼を受け、第1次府中市公共施設マネジメント推進プランで定めるモデル事業について、市民の立場や公共施設に関する専門的な知識を有する立場など、様々な経験をもとに議論を行ってきました。

平成27年度はモデル事業2の「学校施設の更なる活用」について、平成27年6月26日から平成28年3月1日まで計6回の協議会を開催しました。検討過程において、各学校施設の建物の老朽化の状況や児童生徒数の推移、各プールの利用状況などについて事務局から説明を受けたほか、対象となる施設の現地確認を行い、教育機能を確保した上で学校施設を更に活用していく方策について議論を重ねてきました。

現在の学校施設はハード・ソフトの両面で多くの課題を有していますが、課題解決に向けては、児童生徒の安全性の確保や適切な教育機能の整備という視点とともに、地域に開かれた学校作りという視点も重要となります。

本報告書は、学校施設の更なる活用のため、学校施設の一般開放や複合化などの考え方をまとめたもので、短期的には、学校プールの開放と地域プールの見直しを連携して進めることや、中長期的には学校施設の複合化を進めることを示しています。また、これら取組の具体化に向けては、教育委員会と市長部局の垣根を越え、連携を図りながら検討を進めていかなければなりません。

学校施設の整備は、将来を担う子どもたちの成長を願い、限られた予算を選択し、集中することにより、魅力ある学校施設の増加につなげていかなければなりません。この報告書がそれら取組の基礎となることを期待しています。

平成28年3月

府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会

委員一同

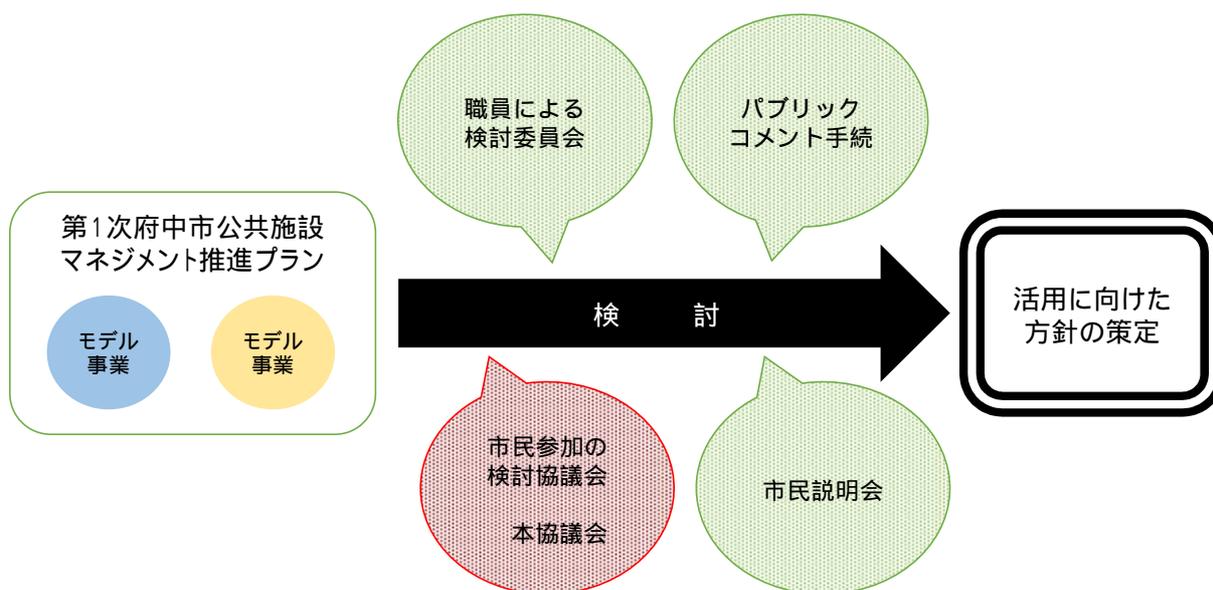
本協議会の役割

本協議会は、公募市民を含む様々な立場の方で構成する協議会であり、第1次府中市公共施設マネジメント推進プランに掲げるモデル事業について、市民等との協働による検討の場として設置されたものです。

なお、本協議会はモデル事業に係る方針等を決定する場ではなく、市が定める「検討の方向性（短期）」や市民アンケートなどを参考に、各施設の評価及び活用策の検討を行い、今後の方向性を市に提案する場として位置付けられています。



【検討の流れと本協議会の位置付け】



検討状況に応じて、実施内容や時期は設定されます。

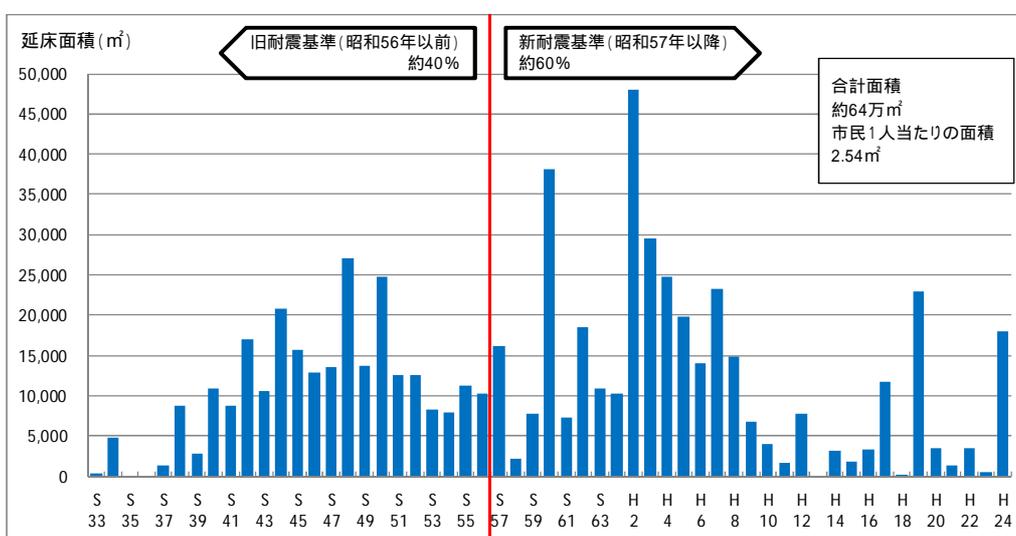
第 1 章

検討に当たっての前提条件

1 府中市の公共施設マネジメントの取組

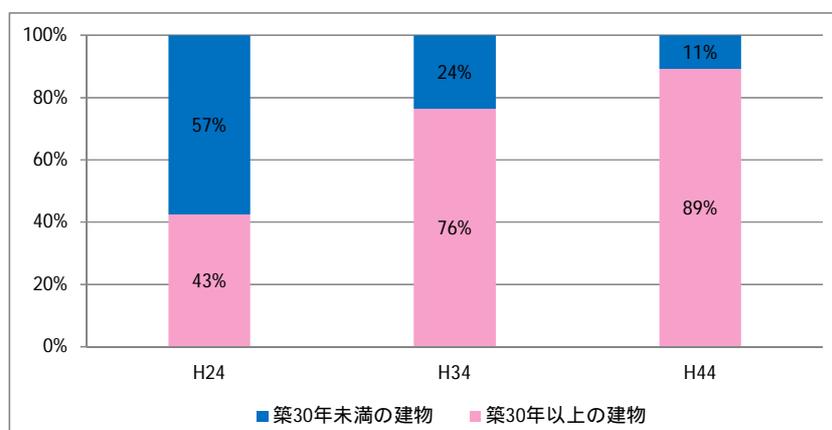
公共施設の老朽化の進行と、それに伴う改修や建替え等の更新費用の増加は、全国の自治体が抱える共通の課題です。府中市公共施設マネジメント白書（平成24年度版）によると、府中市が保有する公共施設約64万㎡のうち約43%が築30年以上を経過しており、今後飛躍的にその割合が増加する見込みです。また、施設の更新費用（年平均）は、これまでの約2倍に増加することも見込まれています。今後府中市は、市民や利用者の安全性の確保という視点とともに、持続可能な自治体経営という視点も持ち、過度な負担を先送りすることのない解決策を見出していくことが求められています。

図 築年度別整備状況



出典：府中市公共施設マネジメント白書（平成24年度版）

図 建築後30年以上経過する施設の割合



出典：府中市公共施設マネジメント白書（平成24年度版）

2 モデル事業2「学校施設の更なる活用」の枠組み

第1次推進プランで定められているモデル事業2「学校施設の更なる活用」について、目的や対象施設などは次のとおりです。

(1) 目的

様々な機能を有する学校施設の更なる活用に向け、機能が重複する学校プールの活用を検討するほか、将来を見据えた検討を行う。

(2) 対象となる施設の抽出

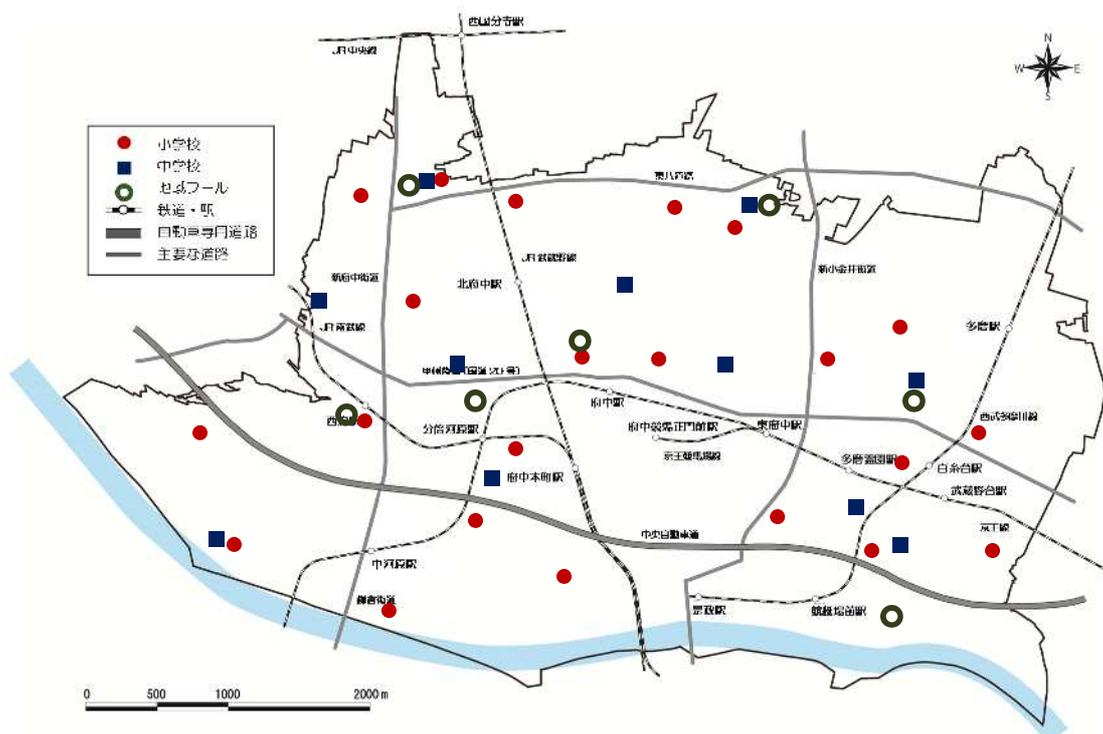
・機能の関連性

屋外プールを有し、地域の市民を利用者として想定した地域対応施設を対象とする。

(3) 対象施設(40施設)と各施設の検討の方向性(短期)

対象施設	検討の方向性(短期)
ア 小学校(22校)	・学校プールの市民への開放、学校施設の複合化など、学校施設の更なる活用方策を検討する。
イ 中学校(11校)	
ウ 地域プール(7施設)	・利用期間や既存施設の有効活用の観点から、地域プールは処分を検討する。なお、機能については学校プールの活用を検討する。

図 対象施設の配置図



第2章

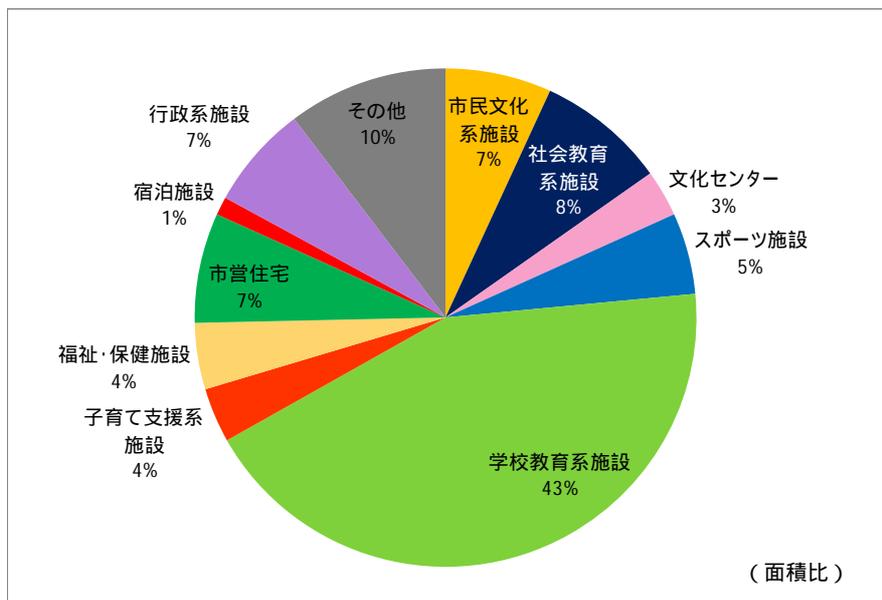
公共施設マネジメントの視点から見た 対象施設の現状と課題

1 学校施設の現状

(1) 公共施設全体に占める割合

府中市が保有する公共施設（延床面積）のうち、約40%を学校教育系施設が占めていることが、府中市公共施設マネジメント白書で示されています。他の用途の施設と比較しても圧倒的な総量を占める学校施設については、公共施設マネジメントを着実に進めていく上で非常に重要な施設であることがわかります。

図 用途別の延床面積の内訳



市民文化系施設	7%	福祉・保健施設	4%
社会教育系施設	8%	市営住宅	7%
文化センター	3%	宿泊施設	1%
スポーツ施設	5%	行政系施設	7%
学校教育系施設	43%	その他	10%
子育て支援系施設	4%		

出典：府中市公共施設マネジメント白書（平成24年度版）

(2) 老朽化の進行

老朽化に係る課題は全ての施設で共通するものですが、築30年以上経過する施設のうち、74%を学校教育系施設が占めていることから明らかなように、特に学校施設の老朽化が著しいことがわかります。

これまで市では、建物及び非構造部材の耐震化やトイレの改修、空調機の設置など、社会情勢の変化や機能向上に対応することが求められ、進められてきましたが、最も重要な老朽化の対策が後回しになってしまっています。

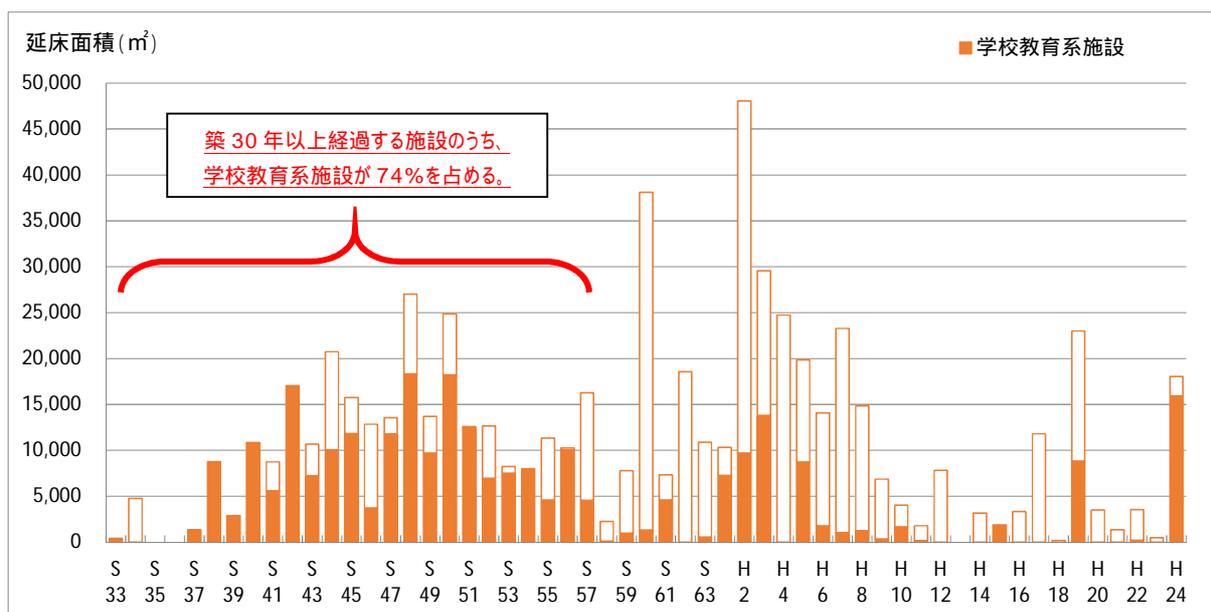
表 市立小中学校の概要

No.	小学校名	延床面積	校舎の竣工年度 1	築年数 2		児童数 3	学級数 3
				校舎	体育館		
1	府中第一小学校	9,217 m ²	S52年(1977年)	37年	30年	752人	25
2	府中第二小学校	8,182 m ²	H1年(1989年)	25年	49年	969人	32
3	府中第三小学校	8,059 m ²	S39年(1964年)	50年	49年	825人	29
4	府中第四小学校	5,486 m ²	S38年(1963年)	51年	49年	446人	16
5	府中第五小学校	6,443 m ²	S38年(1963年)	51年	49年	547人	21
6	府中第六小学校	6,469 m ²	S38年(1963年)	51年	49年	824人	24
7	府中第七小学校	5,826 m ²	S37年(1962年)	52年	47年	359人	12
8	府中第八小学校	8,508 m ²	S38年(1963年)	51年	49年	964人	32
9	府中第九小学校	7,649 m ²	S40年(1965年)	49年	47年	425人	21
10	府中第十小学校	8,833 m ²	H24年(2012年)	2年	2年	776人	24
11	武蔵台小学校	6,119 m ²	S41年(1966年)	48年	47年	311人	12
12	住吉小学校	7,532 m ²	S42年(1967年)	47年	47年	607人	25
13	新町小学校	5,223 m ²	S43年(1968年)	46年	45年	304人	11
14	本宿小学校	6,558 m ²	S44年(1969年)	45年	44年	773人	23
15	白糸台小学校	5,319 m ²	S44年(1969年)	45年	44年	525人	16
16	矢崎小学校	5,119 m ²	S45年(1970年)	44年	43年	352人	12
17	若松小学校	5,778 m ²	S47年(1972年)	42年	42年	635人	20
18	小柳小学校	6,387 m ²	S47年(1972年)	42年	41年	672人	22
19	南白糸台小学校	6,074 m ²	S48年(1973年)	41年	41年	587人	21
20	四谷小学校	6,602 m ²	S48年(1973年)	41年	40年	621人	19
21	南町小学校	6,548 m ²	S49年(1974年)	40年	39年	476人	17
22	日新小学校	5,893 m ²	S52年(1977年)	37年	36年	496人	17
計	小学校 22校	147,824 m²	全ての学校で耐震化済み			13,246人	451

No.	中学校名	延床面積	校舎の竣工年度 1	築年数 2		生徒数 3	学級数 3
				校舎	体育館		
1	府中第一中学校	10,348 m ²	S38年(1963年)	51年	38年	589人	21
2	府中第二中学校	12,107 m ²	S41年(1966年)	48年	24年	697人	23
3	府中第三中学校	13,344 m ²	H19年(2007年)	7年	24年	598人	21
4	府中第四中学校	12,483 m ²	S44年(1969年)	45年	23年	634人	20
5	府中第五中学校	13,339 m ²	S51年(1976年)	38年	23年	539人	15
6	府中第六中学校	11,612 m ²	S40年(1965年)	49年	23年	607人	17
7	府中第七中学校	9,974 m ²	S42年(1967年)	47年	21年	279人	9
8	府中第八中学校	9,621 m ²	S48年(1973年)	41年	41年	618人	16
9	府中第九中学校	9,384 m ²	S51年(1976年)	38年	37年	364人	11
10	府中第十中学校	8,757 m ²	S54年(1979年)	35年	34年	325人	10
11	浅間中学校	9,162 m ²	S56年(1981年)	33年	32年	588人	16
計	中学校 11校	120,131 m²	全ての学校で耐震化済み			5,838人	179

- 1 児童生徒の利用する最も古い棟の年度
- 2 平成25年度末時点の経過年数で、30年以上経過している施設には網掛け
- 3 平成26年5月1日現在。なお、特別支援学級を含む。

図 築年度別整備状況(学校教育系施設を着色)



老朽化が進む学校施設



校舎天井



屋上



体育館

(3) 児童生徒数の変化

府中市の人口は現在も微増を続け、児童生徒数も横ばいの状況です。この傾向は当面続くと見込まれますが、長期的には市の人口推計で示されているとおり、全国的な傾向と同様、児童生徒数は減少することが予想されます。

このことから、老朽化が進む学校施設に対して、現在の児童生徒数を前提とした改修や建替えを行うことは、将来的に余裕スペースを生み出すことにつながりかねず、結果として過剰な投資となるおそれがあります。

表 市立小中学校の学級数及び児童生徒数

小学校の学級数、児童数 (H26.5.1現在)

	普通学級														特別支援学級				総計	
	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計		固定学級		通級学級			
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
府中第一小学校	4	125	4	132	4	136	3	104	4	131	4	124	23	752	0	0	2	(32)	25	752
府中第二小学校	5	168	5	157	5	172	4	152	4	146	4	141	27	936	5	33	0	0	32	969
府中第三小学校	5	142	4	138	4	123	4	129	4	157	4	136	25	825	0	0	4	(38)	29	825
府中第四小学校	2	65	3	90	2	60	2	59	2	70	2	80	13	424	3	22	0	0	16	446
府中第五小学校	3	94	3	99	3	83	3	82	2	69	3	95	17	522	4	25	0	0	21	547
府中第六小学校	4	120	4	127	3	118	4	143	4	150	5	166	24	824	0	0	0	0	24	824
府中第七小学校	2	45	2	64	2	47	2	61	2	72	2	70	12	359	0	0	0	0	12	359
府中第八小学校	6	179	5	176	4	141	5	172	4	151	4	145	28	964	0	0	4	(35)	32	964
府中第九小学校	3	73	2	71	2	63	2	60	2	78	2	55	13	400	4	25	4	(31)	21	425
府中第十小学校	5	149	4	122	4	131	4	129	3	119	4	126	24	776	0	0	0	0	24	776
武蔵台小学校	2	62	2	45	2	46	2	50	2	50	2	58	12	311	0	0	0	0	12	311
住吉小学校	3	104	4	112	3	109	3	100	3	99	3	83	19	607	0	0	6	(56)	25	607
新町小学校	2	44	2	54	1	40	2	55	2	53	2	58	11	304	0	0	0	0	11	304
本宿小学校	4	109	4	139	3	114	4	124	4	138	4	149	23	773	0	0	0	0	23	773
白糸台小学校	3	84	2	60	2	81	3	84	3	104	3	112	16	525	0	0	0	0	16	525
矢崎小学校	2	64	2	52	2	51	2	62	2	72	2	51	12	352	0	0	0	0	12	352
若松小学校	4	112	4	129	3	103	3	107	3	93	3	91	20	635	0	0	0	0	20	635
小柳小学校	4	114	3	105	3	113	3	95	3	108	3	116	19	651	3	21	0	0	22	672
南白糸台小学校	3	99	3	96	3	113	3	84	3	92	3	103	18	587	0	0	3	(21)	21	587
四谷小学校	3	104	4	114	3	93	3	117	3	94	3	99	19	621	0	0	0	0	19	621
南町小学校	3	81	3	89	2	60	2	68	2	79	3	84	15	461	2	15	0	0	17	476
日新小学校	3	97	3	76	2	67	3	89	3	83	3	84	17	496	0	0	0	0	17	496
計	75	2,234	72	2,247	62	2,064	66	2,126	64	2,208	68	2,226	407	13,105	21	141	23	(213)	451	13,246

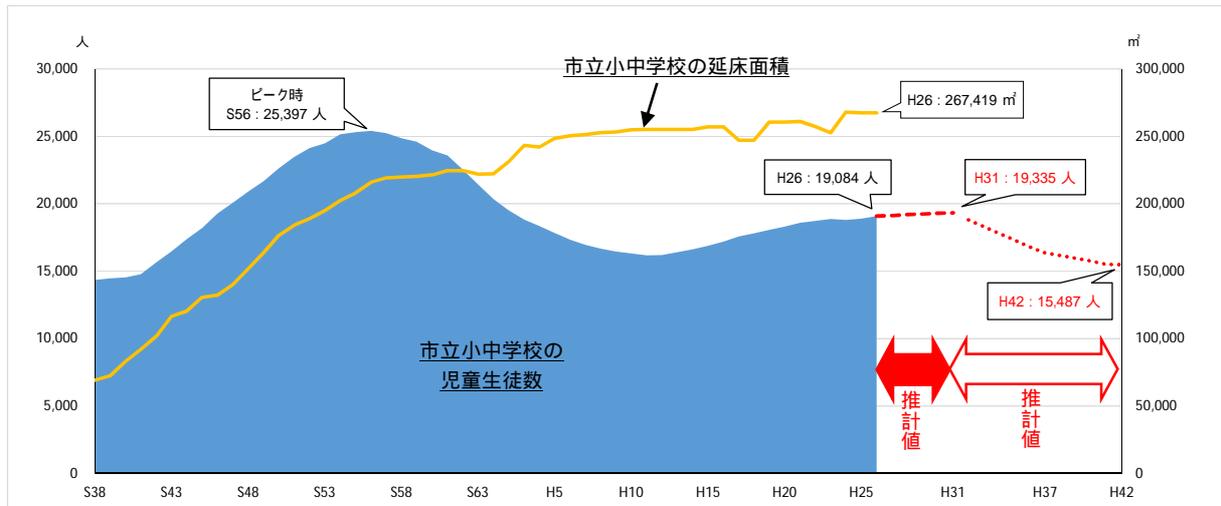
通級学級の児童数は除く

中学校の学級数、生徒数 (H26.5.1現在)

	普通学級								特別支援学級				総計	
	1年		2年		3年		計		固定学級		通級学級			
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
府中第一中学校	6	186	5	180	5	182	16	548	5	41	0	0	21	589
府中第二中学校	7	244	6	213	6	211	19	668	4	29	0	0	23	697
府中第三中学校	6	186	6	214	5	198	17	598	0	0	4	(33)	21	598
府中第四中学校	6	208	5	199	6	206	17	613	3	21	0	0	20	634
府中第五中学校	5	181	5	173	5	185	15	539	0	0	0	0	15	539
府中第六中学校	6	198	5	200	6	209	17	607	0	0	0	0	17	607
府中第七中学校	3	82	3	103	3	94	9	279	0	0	0	0	9	279
府中第八中学校	6	232	5	193	5	193	16	618	0	0	0	0	16	618
府中第九中学校	4	124	3	118	4	122	11	364	0	0	0	0	11	364
府中第十中学校	4	114	3	107	3	104	10	325	0	0	0	0	10	325
浅間中学校	6	202	5	195	5	191	16	588	0	0	0	0	16	588
計	59	1,957	51	1,895	53	1,895	163	5,747	12	91	4	(33)	179	5,838

通級学級の生徒数は除く

図 市立小中学校の児童生徒数と延床面積の変化



グラフ中の児童生徒数の推計値は、 と で算出方法が異なる。

は現在の未就学児数やこれまでの実績増減数などを基に算出したもの(平成 26 年度教育人口等推計報告書より)
 で、 は市の人口推計を基に、年少人口(0 歳 ~ 15 歳)の割合から算出したもの。

(4) 教育機能の確保

昭和 4 0 年代、5 0 年代の人口の急激な増加に伴い、膨大な量の学校施設を短期間に整備できるよう、全国的に画一的な校舎が造られてきました。これらの学校施設は、当時のニーズへの対応という面では効果的であったものの、その後、個別・少人数指導や総合学習の実施などにより、求められる教育機能の多様化・高度化が進んだ結果、現在は十分対応できていない状況が見受けられます。

2 地域プールの現状

(1) 利用者の安全性の確保

多くの人々が利用する公共施設は、安全に、かつ安心して利用できる状態を維持しなければなりません。しかし、全国の公共施設において、施設の老朽化や運営の不備などを理由とした事故は起きており、特にプールについては、平成18年の「ふじみ野市大井プール事故」や、平成23年の「泉南市立砂川小学校プール事故」など、施設の特性上、命に関わる重大な事故となってしまう場合も考えられます。

このことは、施設管理者である市の責任の大きさとともに、委託事業者など様々な立場の者が関わるなかで、利用者の安全性を確保する課題の大きさを示しています。

(2) 充実したプール施設と費用対効果

府中市が保有するプール施設には、モデル事業の対象となっている地域プール（7施設）のほか、市民総合プールと生涯学習センター温水プールがあり、近隣の自治体に比べて非常に充実している状況となっています。

施設数の多さは、市民サービスの面では良いと捉えることもできますが、あくまでも、市民サービスとそれにかかる費用とのバランスを考慮して評価しなければなりません。地域プールは運営期間が短期間（年間40日程度）であるにも関わらず、15ページに記載のとおり、年間の維持管理に約8千万円がかかっており、費用対効果の面からも見直しが必要です。

表 地域プールの概要

No.	施設名	延床面積 (管理棟)	竣工年度	築年数 1	運営時間
1	市民プール	281 m ²	S53年(1963年)	37年	第1回 10:00~12:00 第2回 13:00~15:00 第3回 15:30~17:30 ナイトー 18:00~20:00
2	小柳プール	90 m ²	S51年(1976年)	39年	第1回 10:00~12:00 第2回 13:00~15:00 第3回 15:30~17:30
3	白糸台プール	151 m ²	S59年(1984年)	31年	
4	西府プール	161 m ²	S59年(1984年)	31年	
5	武蔵台プール	157 m ²	S59年(1984年)	31年	
6	新町プール	166 m ²	S60年(1985年)	30年	
7	美好水遊び広場	133 m ²	H2年(1990年)	25年	
計	7施設	1,139 m²			

平成25年度末時点の経過年数で、30年以上経過している場合は網掛け

図 プール施設の規模と配置



実線の枠で示すプール施設が地域プール

表 市営プールの設置状況(多摩地域26市)

	人口	プール施設数		プール機能の有無				水面面積 (㎡)	市民1人当たりの 水面面積 (㎡/人) /	備考
		屋内	屋外	50mプール	スライダー	流水 プール	子ども専用 プール			
八王子市	563,482	1	2	×	×	×	×	1,488	0.0026 ㎡/人	
立川市	178,194	2		×	×	×	×	1,761	0.0099 ㎡/人	
武蔵野市	140,527	2	1		×	×	×	1,858	0.0132 ㎡/人	
三鷹市	180,194	1		×	×	×	×	2,018	0.0112 ㎡/人	
青梅市	137,833		3	休場				4,704	0.0341 ㎡/人	2施設休場
府中市	253,288	1	8					5,892	0.0233 ㎡/人	
昭島市	112,905	1	1	×			×	2,550	0.0226 ㎡/人	平成26年度末に1施設廃止
調布市	223,691	1	1		×	×	×	1,858	0.0083 ㎡/人	
町田市	426,222	1			×	×	×	1,325	0.0031 ㎡/人	
小金井市	117,001	2		×	×	×	×	802	0.0069 ㎡/人	
小平市	186,339	1	2		×		×	3,409	0.0183 ㎡/人	
日野市	179,571	1	1		×	×	×	1,189	0.0066 ㎡/人	
東村山市	152,088	1	1		×	×	×	1,877	0.0123 ㎡/人	
国分寺市	118,697	1		×	×	×	×	361	0.0030 ㎡/人	
国立市	74,385	1		×	×	×	×	250	0.0034 ㎡/人	
福生市	58,821		1			×	×	1,676	0.0285 ㎡/人	
狛江市	77,923		1	×	×	×	×	1,086	0.0139 ㎡/人	
東大和市	85,297		1	×			×	1,621	0.0190 ㎡/人	
清瀬市	74,216		1	×		×	×	320	0.0043 ㎡/人	
東久留米市	116,417	1		×	×	×	×	675	0.0058 ㎡/人	
武蔵村山市	72,169		1	×	×	×	×	478	0.0066 ㎡/人	
多摩市	147,681	1					×	1,362	0.0092 ㎡/人	
稲城市	86,169	1	1	×			×	1,257	0.0146 ㎡/人	
羽村市	56,837	1	1	×			×	1,625	0.0286 ㎡/人	
あきる野市	81,912	1	1	×			×	2,088	0.0255 ㎡/人	
西東京市	197,546	1		×	×	×	×	330	0.0017 ㎡/人	
出典	各市人口は、平成26年1月1日現在	各市HPよりH26年度末時点ただし、休場または廃止の施設を除く	各市HPよりH26年度末時点 なお、子ども専用プールとは、一般プールに併設された幼児用プールとは異なり、利用者として子どものみを想定して運営されているプール施設	公共施設状況調(平成25年度)総務省				府中市よりも大きい市は赤字で表記		

表 地域プールの維持管理コスト

	市民プール	小柳プール	白糸台プール	西府プール	武蔵台プール	新町プール	美好水遊び広場	共通経費
支出(千円)	12,756	7,734	7,444	8,189	7,192	8,857	8,254	18,740
建物コスト	3,374	1,377	1,813	1,803	1,672	2,117	2,676	5,865
施設管理委託費	0	0	0	0	0	0	0	5,865
光熱水費	3,374	1,377	1,813	1,803	1,672	2,117	2,676	0
運営コスト	7,594	5,785	4,672	5,366	4,211	5,686	4,735	1,933
事業運営委託費	7,583	5,775	4,662	5,355	4,200	5,670	4,725	106
その他	11	10	10	11	11	16	10	1,827
人件費	0	0	0	0	0	0	0	7,171
施設修繕費	0	0	0	0	0	0	0	3,772
減価償却費相当額	1,787	572	959	1,020	1,309	1,053	843	0
収入(千円)	1,009	403	462	377	515	508	659	243
	市民プール	小柳プール	白糸台プール	西府プール	武蔵台プール	新町プール	美好水遊び広場	
利用者1人当たりコスト	1,402円/人	1,419円/人	1,247円/人	1,671円/人	1,375円/人	1,444円/人	1,053円/人	
市民1人当たりコスト	124円/人	105円/人	103円/人	106円/人	102円/人	109円/人	107円/人	
利用者1人当たりコスト =	各施設の総経費(支出) / 各施設の利用者数		+	共通経費(支出) / 各施設の利用者数の合計		共通経費とは、施設ごとに分けることができない、7施設全体でかかるコストのこと		
利用者1人当たりコスト =	各施設の総経費(支出) / 市民		+	共通経費(支出) / 市民				

出典: 府中市公共施設カルテ(平成25年度版)

地域プール7施設にかかる維持管理コスト = 約8千万円/年(40日間)

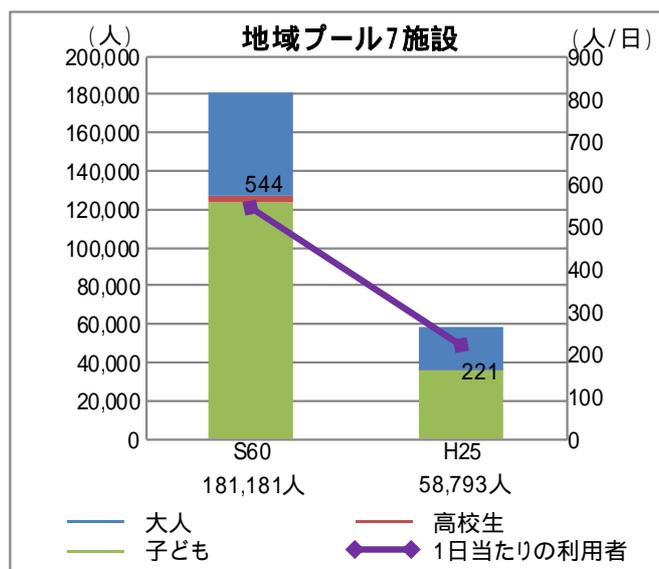
(3) 利用者数の変化

地域プールは昭和50年代を中心に整備された施設ですが、当時と現在とでは、年少人口の減少や遊びの多様化などの要因により、プールに対するニーズが大きく変化しています。利用者数はピーク時に比べて約70%減少しており、プールによっては80%以上減少している状況も見られます。また、利用者の中心である子どもの減少率が大人よりも大きいことも明らかになっています。

これらのことから、現在の地域プールは抜本的な見直しが必要な状況と考えられます。

図 地域プールの利用者数の変化(ピーク時と現在)

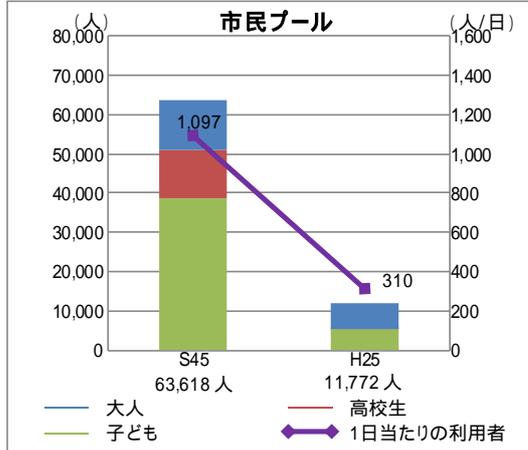
地域プール7施設	利用者数(人)		増減率(%)
	S60	H25	
大人	53,589	22,803	-57.4
高校生	3,670	330	-91.0
子ども	123,922	35,660	-71.2
合計	181,181	58,793	-67.6
1日当たりの利用者	544	221	-59.4
年間運営日数	333	266	-20.1



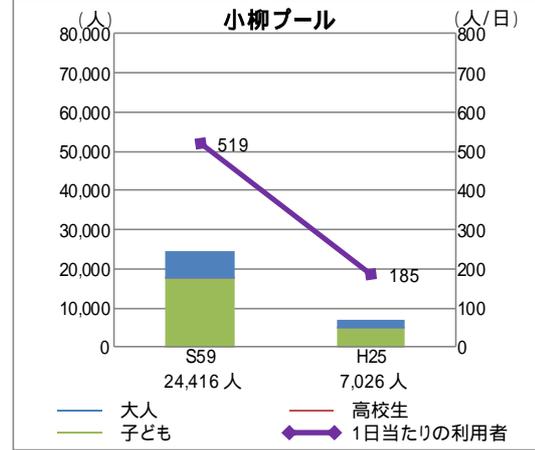
昭和60年度は、美好水遊び広場を除く6施設の合計

(各プール)

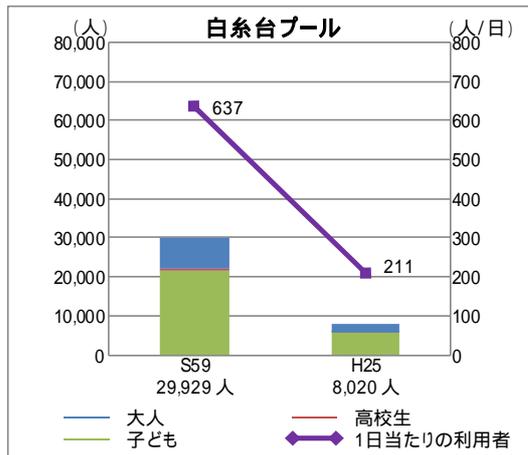
市民プール	利用者数(人)		増減率(%)
	S45	H25	
大人	12,634	6,310	-50.1
高校生	12,302	174	-98.6
子ども	38,682	5,288	-86.3
合計	63,618	11,772	-81.5
1日当たりの利用者	1,097	310	-71.8
年間運営日数	58	38	-34.5



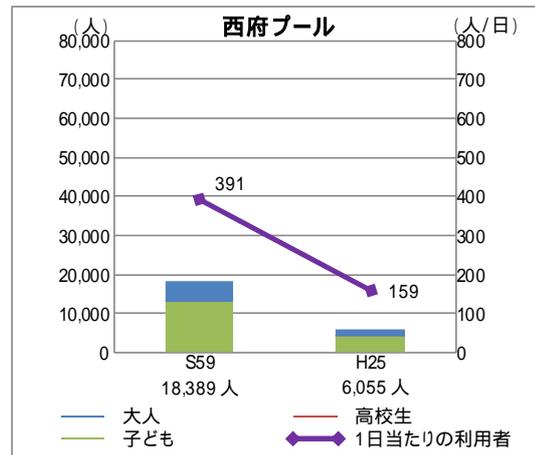
小柳プール	利用者数(人)		増減率(%)
	S59	H25	
大人	6,835	2,174	-68.2
高校生	73	58	-20.5
子ども	17,508	4,794	-72.6
合計	24,416	7,026	-71.2
1日当たりの利用者	519	185	-64.4
年間運営日数	47	38	-19.1



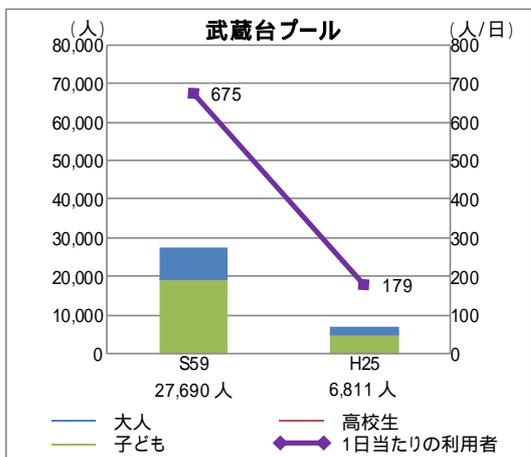
白糸台プール	利用者数(人)		増減率(%)
	S59	H25	
大人	8,056	2,301	-71.4
高校生	236	12	-94.9
子ども	21,637	5,707	-73.6
合計	29,929	8,020	-73.2
1日当たりの利用者	637	211	-66.9
年間運営日数	47	38	-19.1



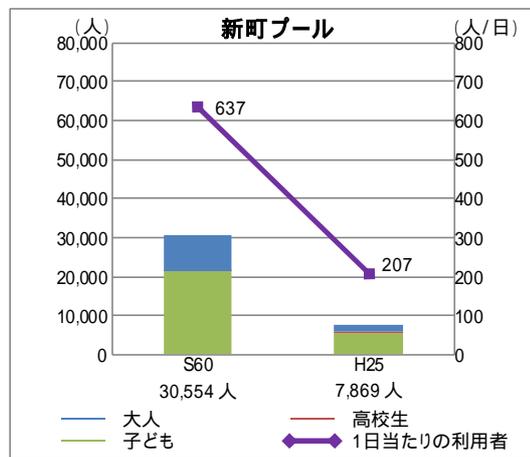
西府プール	利用者数(人)		増減率(%)
	S59	H25	
大人	5,242	2,050	-60.9
高校生	128	26	-79.7
子ども	13,019	3,979	-69.4
合計	18,389	6,055	-67.1
1日当たりの利用者	391	159	-59.3
年間運営日数	47	38	-19.1



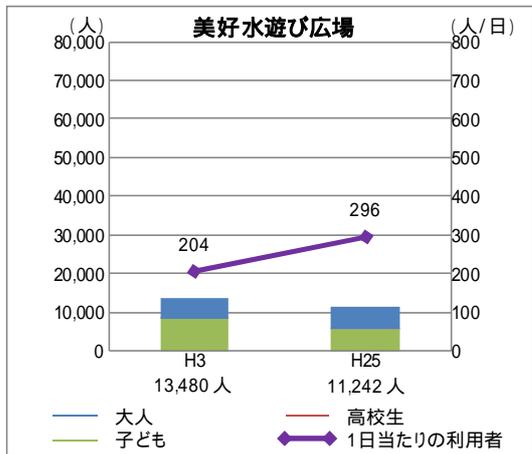
武蔵台プール	利用者数(人)		増減率(%)
	S59	H25	
大人	8,667	2,195	-74.7
高校生	188	32	-83.0
子ども	18,835	4,584	-75.7
合計	27,690	6,811	-75.4
1日当たりの利用者	675	179	-73.5
年間運営日数	41	38	-7.3



新町プール	利用者数(人)		増減率(%)
	S60	H25	
大人	9,110	2,143	-76.5
高校生	166	23	-86.1
子ども	21,278	5,703	-73.2
合計	30,554	7,869	-74.2
1日当たりの利用者	637	207	-67.5
運営日数	48	38	-20.8



美好水遊び広場	利用者数(人)		増減率(%)
	H3	H25	
大人	5,002	5,630	12.6
高校生	9	5	-44.4
子ども	8,469	5,607	-33.8
合計	13,480	11,242	-16.6
1日当たりの利用者	204	296	44.8
年間運営日数	66	38	-42.4



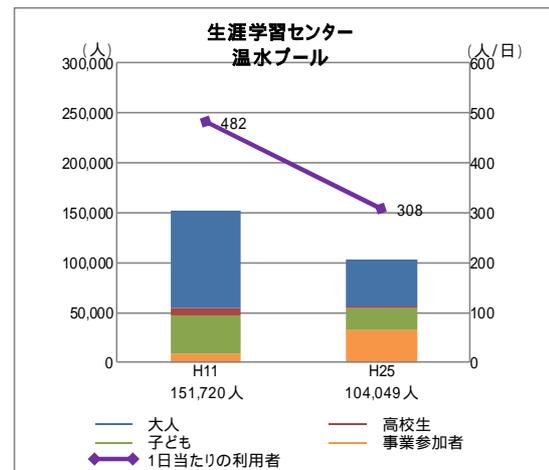
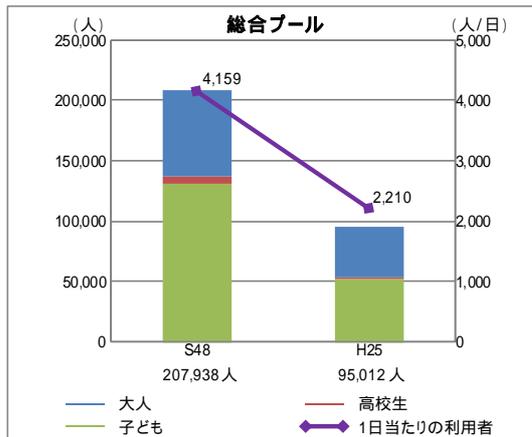
出典:府中市事務報告書

なお、利用者数の変化は地域プールに限ったものではなく、その他のプールにおいても同様の傾向となっています。

図 地域プール以外のプール利用者数の変化(ピーク時と現在)

総合プール 参考	利用者数(人)		増減率(%)
	S48	H25	
大人	70,300	41,065	-41.6
高校生	6,871	1,070	-84.4
子ども	130,767	52,877	-59.6
合計	207,938	95,012	-54.3
1日当たりの利用者	4,159	2,210	-46.9
年間運営日数	50	43	-14.0

生涯学習センター 温水プール 参考	利用者数(人)		増減率(%)
	H11	H25	
大人	96,836	47,872	-50.6
高校生	7,577	2,052	-72.9
子ども	38,147	22,385	-41.3
事業参加者	9,160	31,740	246.5
合計	151,720	104,049	-31.4
1日当たりの利用者	482	308	-36.1
年間運営日数	315	338	7.3



出典:府中市事務報告書

(4) 民間プールが満たす市民ニーズ

プール機能は、公共プールだけが提供できるものではなく、民間プールも多く整備されています。これらの民間プールには様々な形がありますが、大きくは、ウォータスライダーや流れるプールなどを配置するレジャー型と、豊富な練習プログラムや指導者を用意するクラブ型に分けられます。市民や市立小中学校の児童生徒を対象に行ったアンケートでは、これら民間プールの利用者が相当数存在することが明らかになっており、民間プールが市民ニーズの受け皿となっている様子がうかがえます。

表 公共プールと民間プールの利用者数の比較

市民アンケート(回答者:20歳以上の市民)

施設名	利用者数	非利用者数	無回答	計
市民総合プール	137 (13.5%)	807 (79.7%)	69 (6.8%)	1,013 (100%)
市民プール	38 (3.8%)	888 (87.7%)	87 (8.6%)	1,013 (100%)
小柳プール	13 (1.3%)	901 (88.9%)	99 (9.8%)	1,013 (100%)
白糸台プール	24 (2.4%)	895 (88.4%)	94 (9.3%)	1,013 (100%)
西府プール	20 (2.0%)	898 (88.6%)	95 (9.4%)	1,013 (100%)
武蔵台プール	12 (1.2%)	879 (86.8%)	122 (12.0%)	1,013 (100%)
新町プール	11 (1.1%)	879 (86.8%)	123 (12.1%)	1,013 (100%)
美好水遊び広場	34 (3.4%)	854 (84.3%)	125 (12.3%)	1,013 (100%)
生涯学習センター温水プール	98 (9.7%)	805 (79.5%)	110 (10.9%)	1,013 (100%)
その他民間のプール(市外含む)	121 (11.9%)	772 (76.2%)	120 (11.8%)	1,013 (100%)

児童生徒アンケート(回答者:市立小中学校の児童生徒)

施設名	利用者数	非利用者数	無回答	計
市民総合プール	2,115 (44.8%)	2,601 (55.1%)	4 (0.1%)	4,720 (100%)
地域プール	2,106 (44.6%)	2,610 (55.3%)	4 (0.1%)	4,720 (100%)
生涯学習センター温水プール	859 (18.2%)	3,855 (79.5%)	4 (0.1%)	4,720 (100%)
学校プール(水泳指導など)	3,190 (67.6%)	1,524 (32.3%)	4 (0.1%)	4,720 (100%)
その他民間のプール(市外含む)	2,410 (51.1%)	2,304 (48.8%)	4 (0.1%)	4,720 (100%)

1 各セルの上段が回答者数、下段が割合

2 平成27年7月18日~8月31日までの期間における各プールの利用の有無

(5) 事務事業点検の結果を踏まえた見直しの実行

平成 2 5 年度に実施された府中市の事務事業点検において、プール管理運営事業に関する課題はすでに指摘されており、市では改善に向けた検討や協議を進める方針を掲げています。

表 事務事業点検の結果と市の方針

事業番号	事業名	担当課
2-11	プール管理運営事業	生涯学習スポーツ課
点検結果	市(要改善)	
点検での意見	<ul style="list-style-type: none"> ・総合プールは、指定管理者制度の導入やネーミングライツの導入を進めてもらいたい。すぐできないのであれば、プール運営だけ先行導入する方法も考えられる。 ・総合プール、地域プール、水遊び広場等、それぞれ目的が違うのでそれぞれの特色に応じた手法により効率化すべきではないか。公園など他の施設と一体的なプールは、樹木管理、駐車場管理費用は公園等と併せた一体的な管理を行う方が単価減になるのではないか。 ・民間のノウハウを活用した運営をし、市民サービス向上を図るべきである。 ・地域プールを廃止して小学校プールの活用など抜本的な見直しが必要である。 ・屋外でも水球やカヌーなど、天候に左右されない講座の検討が可能である。 ・市民のニーズに合ったサービスができるよう委託先と弾力的な契約をしてもらいたい。 ・プールの統廃合を考えるべきである。年間の利用が少なく、一時期しか使用できない施設としてのプールの存続は再考すべき。 ・コストに見合った使用料の設定、市民が多く利用するような工夫が必要である。 ・貸切使用に疑問が残る。 ・総合プールは、利用人数を増やすためにも屋内で年間使用が可能な施設にして、利用料を上げる方向で検討してはどうか。 ・統廃合は必要であるが、混むときは非常に混雑するので、拡張の方向性も含めて検討すべきである。 	
市の方針	市(要改善)	
点検結果及び意見に対する考え方や具体的な取組方針や見直し内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・総合プール・地域プールは、日常生活圏内の身近な場所に設置しており、市民の誰もが気軽に利用でき、市民の憩いの場所として利用されていますが、施設の老朽化、施設維持や運営にかかる経費が財政に与える影響も少なくないなど、事業を継続するに当たっての課題は認識しています。 ・府中市民(郷土の森)総合プールの指定管理者制度導入について、研究・検討をします。 ・プールの開催期間について検討します。 ・学校プールの活用については、関係課と協議します。 ・樹木管理等について、隣接施設との一体的な管理方策について、関係課と協議します。 ・施設使用料は、市の使用料算出基準において使用料負担分類表「必需的・基礎的以上のサービス」に基づき算出しており、一概に費用のみで見直すべき施設とは考えていないが、関係課と施設使用料のあり方について協議します。 ・市民プールのナイター利用について、受益者負担を含め、存廃について検討します。 ・施設の老朽化が年々進行し、今後も引き続き安全にサービスの提供を行うためには、多額の修繕費用が見込まれることから、施設のあり方については、公共施設マネジメントに関する取組の中で、総合的に検討します。 	

出典：平成 2 5 年度事務事業点検の点検結果に対する市の方針

3 今後の課題

(1) 学校施設

短期間に集中する学校施設の更新

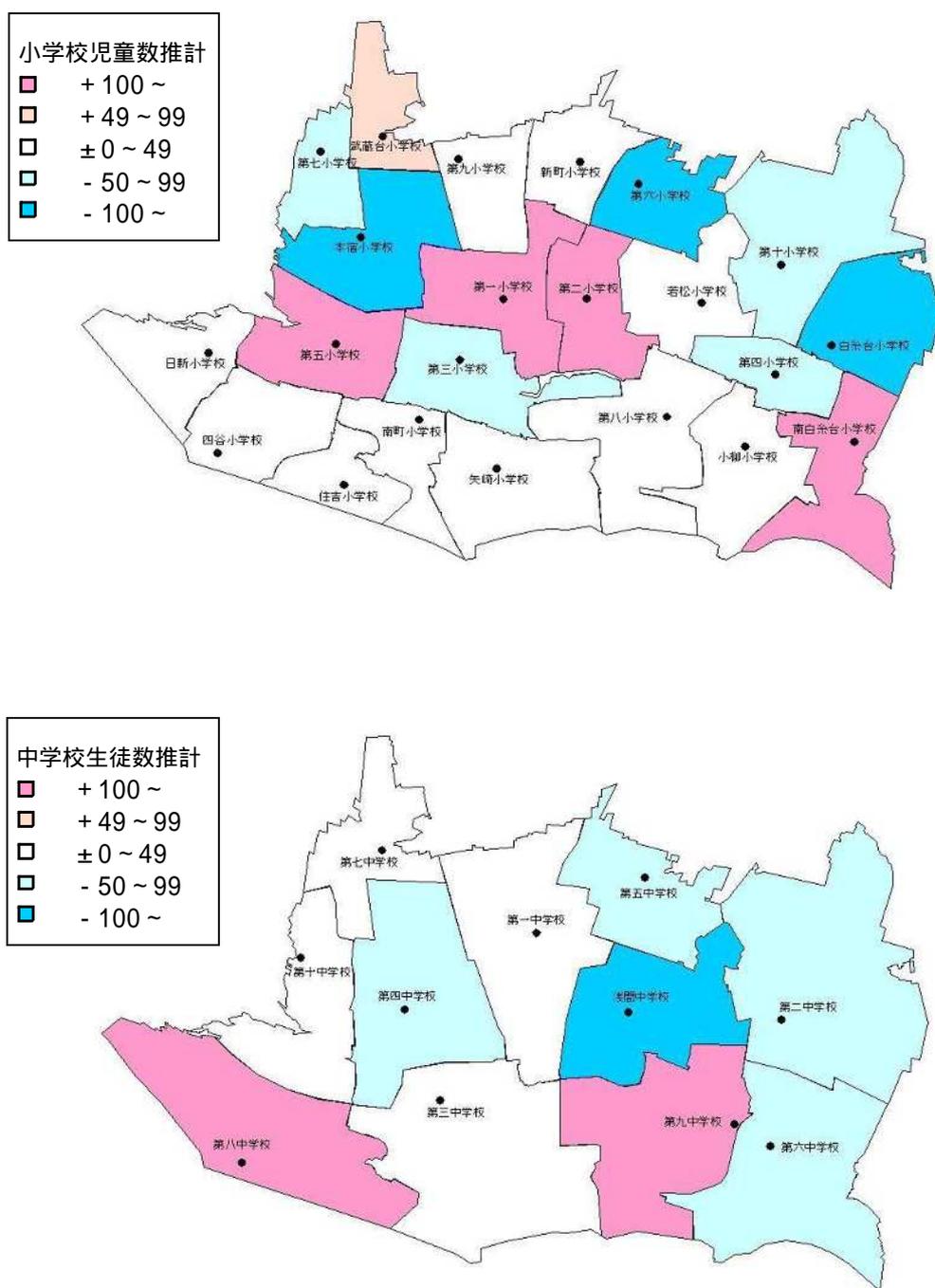
学校施設の多くが既に築30年以上を経過し、建築物の大規模改修や建替えの目安となる年数は目前に迫っています。しかし、33校の小中学校に対して必要な改修や建替えを同時に行った場合、短期間に膨大な更新費用が集中することとなり、市全体の財政や教育現場への影響などを考慮すると、現実的には非常に困難であると想定されます。

このことから、学校施設の安全性を確保しつつ、限られた財源を計画的に充てていくための方策を早急に検討していく必要があります。具体的には、学校施設に関する情報を数値化し、客観的な視点に基づく優先順位付けを行うことや、学校施設に充てる予算の確保のため、他の施設の廃止や統合などを進めていくことが必要です。

各学校の状況を踏まえたハード・ソフト両面の柔軟な対応

学校施設全体では、老朽化や児童生徒数の変化、教育環境の確保など、様々な課題がありますが、その程度は学校によって異なります。例えば、市全体では児童生徒数は横ばいであるものの、各学校を比較すると状況は大きく異なります。このことを意識せず、画一的な対応をしてしまうと、ハード面では非効率的な施設整備を進めてしまうおそれがあります。また、ソフト面においても、地域ごとに異なる児童生徒数の状況や課題の大きさを的確に捉え、学区の調整や学校規模の見直しを図るなど、柔軟対応が必要となります。

図 市立小中学校における学区別児童生徒数の将来推計



- 1 平成 25 年度の実数と平成 30 年度の見込みの比較
- 2 今後の転入転出などに伴う増減は含めない。

出典：府中市公共施設マネジメント白書(平成24年度版)

(2) 地域プール

具体的な見直しの早期実施

地域プールについては、他自治体との比較や利用者数の減少などの点から、今後見直しを進めることになっていますが、具体的な時期や内容は示されていません。これらの施設を維持していくためには、現在、そして将来多くの費用が必要となることから、廃止等の検討とその具体策の早期実施が求められます。

市民ニーズへの対応

今後、地域プールの見直しを進めるなかで、プールに対する市民ニーズを公共プールだけで満たす必要はなく、学校プールや民間プールも含めたプール機能全体を捉えて対応していく必要があります。

また、アンケートの結果から、「泳ぐ」ではなく「遊ぶ」ことを目的とした利用者が多くを占めている点を踏まえ、ニーズに即した対応も検討していかなければなりません。

第3章

学校施設の活用状況

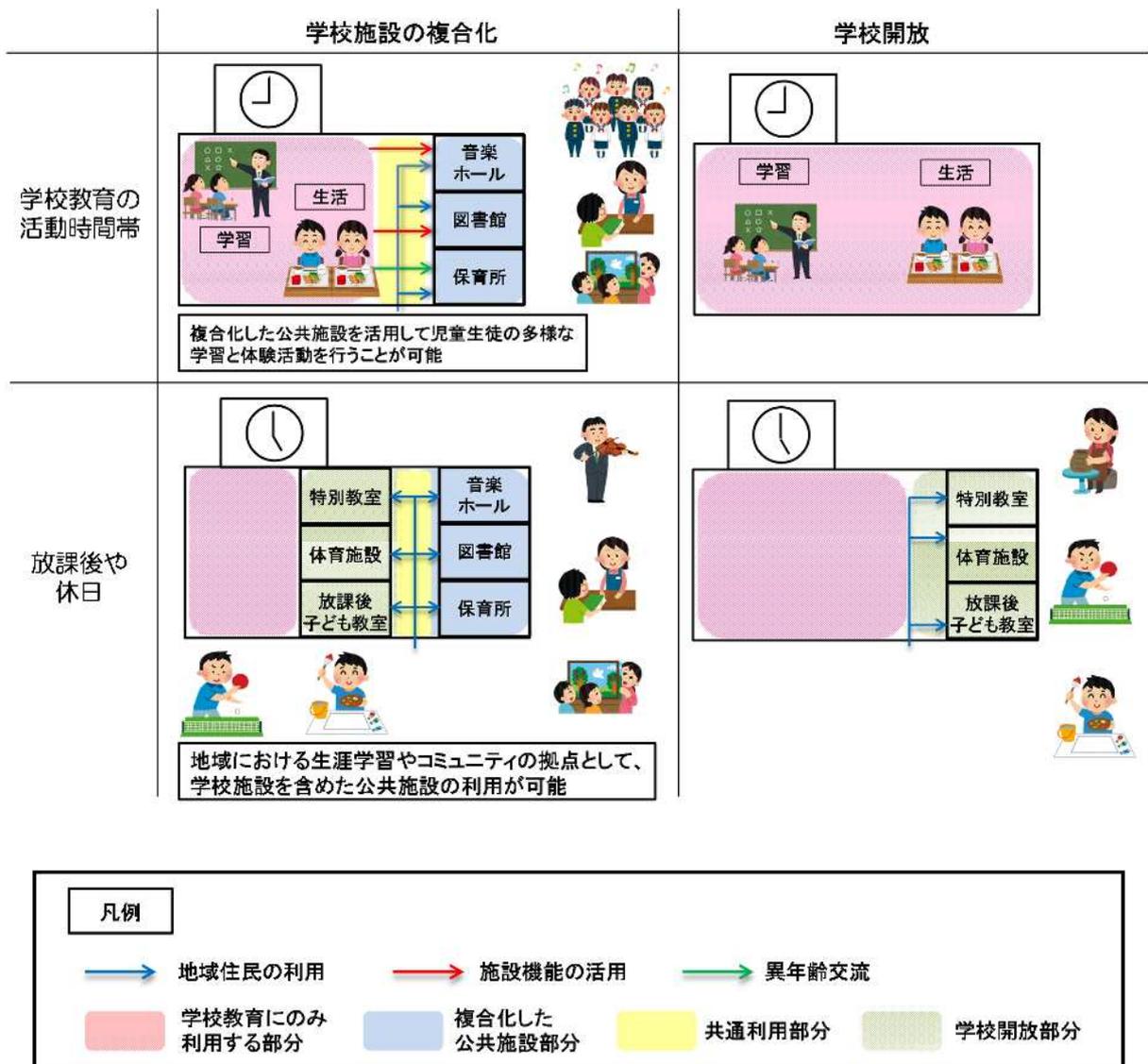
1 活用手法

学校施設を教育目的以外で活用するためには、主に2つの手法が考えられます。

1つは、学校教育のために施設を使用しない時間帯に、学校教育で使用している施設を活用する「学校開放」、そしてもう1つは、学校教育のために使用する施設と他の公共施設を、相互に機能的連携を保ちつつ、同一建物内又は同一敷地内に整備する「複合化」です。

学校の活用状況については、この2つの手法に分けて整理していきます。

図 学校開放と複合化の違い



出典：学校学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について
 (平成27年11月 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

2 学校開放

(1) 法令等による位置付け

学校開放の取組は、各種法令によって定められているとおり、学校教育上支障のない限り、社会教育等の公共のために学校施設を活用する取組です。

表 学校開放に関連する主な法令

教育基本法

第12条

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

学校教育法

第137条 学校教育上支障のない限り、学校には、社会教育に関する施設を附置し、又は学校の施設を社会教育その他公共のために、利用させることができる。

社会教育法

第6章 学校施設の使用

第44条 学校（国立学校又は公立学校をいう。以下この章において同じ。）の管理機関は、学校教育上支障がないと認める限り、その管理する学校の施設を社会教育のために利用に供するように努めなければならない。

スポーツ基本法

第13条 学校教育法第二条第二項に規定する国立学校及び公立学校の設置者は、その設置する学校の教育に支障のない限り、当該学校のスポーツ施設を一般のスポーツのための利用に供するよう努めなければならない。

(2) 使用できる機能等

教育目的以外で学校施設を利用できる範囲は、府中市学校施設使用条例において、教室（教育委員会が指定する教室に限る。） 校庭、 体育室、 武道場と定められています。また、使用できる者の範囲は、府中市学校施設使用条例施行規則において、責任者としての成人を含む10名以上の市内の団体で、社会教育関係団体、学校関係団体、官公庁及びそれらに属する団体、その他教育委員会が特に認めた団体と定められています。

(3) 学校開放の状況

府中市では、現在全ての小中学校において学校開放が実施されていますが、その範囲は、体育施設である校庭や体育館が中心となっています。開放時の学校施設を利用するためには、市への団体（クラブ）登録が必要であり、利用者数は年間で延べ約50万人となっています。なお、見直しが求められている地域プールと機能の重複する学校プールは、現在開放されていません。

表 学校開放利用クラブの状況(平成25年度)

校庭					
NO.	施設名	クラブ数	延べ開放日数	延べ利用者数	1日平均利用者数
1	府中第一小学校	2	255	21,055	82.6
2	府中第二小学校	2	142	10,550	74.3
3	府中第三小学校	2	186	15,393	82.8
4	府中第四小学校	2	95	4,779	50.3
5	府中第五小学校	2	154	8,275	53.7
6	府中第六小学校	2	330	36,556	110.8
7	府中第七小学校	2	174	11,275	64.8
8	府中第八小学校	2	116	8,092	69.8
9	府中第九小学校	2	85	3,965	46.6
10	武蔵台小学校	2	102	4,034	39.5
11	住吉小学校	2	149	7,318	49.1
12	新町小学校	2	205	13,376	65.2
13	本宿小学校	2	191	10,322	54.0
14	白糸台小学校	2	173	6,732	38.9
15	矢崎小学校	2	203	7,194	35.4
16	若松小学校	1	96	7,599	79.2
17	小柳小学校	2	232	16,844	72.6
18	南白糸台小学校	2	101	6,240	61.8
19	四谷小学校	2	197	11,358	57.7
20	南町小学校	2	172	10,170	59.1
21	日新小学校	2	178	4,539	25.5
22	府中第一中学校	2	248	10,262	41.4
23	府中第二中学校	2	272	7,421	27.3
24	府中第七中学校	2	119	2,885	24.2
計	24校	63	4,175	246,234	59.0

(校庭利用の種目別クラブ数)

サッカー	40クラブ
野球	21クラブ
ソフトボール	1クラブ
グラウンドゴルフ	1クラブ

体育館					
NO.	施設名	クラブ数	延べ 開放日数	延べ 利用者数	1日平均 利用者数
1	府中第一小学校	11	425	6,594	15.5
2	府中第二小学校	16	464	7,904	17.0
3	府中第三小学校	10	333	7,698	23.1
4	府中第四小学校	10	347	5,768	16.6
5	府中第五小学校	8	357	6,836	19.1
6	府中第六小学校	14	653	14,901	22.8
7	府中第七小学校	10	505	10,871	21.5
8	府中第八小学校	8	238	5,105	21.4
9	府中第九小学校	13	495	7,868	15.9
10	府中第十小学校	11	397	5,521	13.9
11	武蔵台小学校	9	455	10,199	22.4
12	住吉小学校	8	397	7,713	19.4
13	新町小学校	12	586	14,348	24.5
14	本宿小学校	9	441	12,390	28.1
15	白糸台小学校	8	401	13,826	34.5
16	矢崎小学校	11	299	5,358	17.9
17	若松小学校	9	478	8,782	18.4
18	小柳小学校	10	564	9,476	16.8
19	南白糸台小学校	7	350	9,139	26.1
20	四谷小学校	6	427	8,748	20.5
21	南町小学校	8	415	8,591	20.7
22	日新小学校	14	630	10,756	17.1
23	府中第一中学校	11	504	7,373	14.6
24	府中第二中学校	13	572	8,215	14.4
25	府中第三中学校	15	617	8,297	13.4
26	府中第四中学校	15	662	8,557	12.9
27	府中第五中学校	10	386	5,070	13.1
28	府中第六中学校	11	522	9,711	18.6
29	府中第七中学校	10	374	5,240	14.0
30	府中第八中学校	13	494	7,230	14.6
31	府中第九中学校	9	398	7,056	17.7
32	府中第十中学校	9	290	3,612	12.5
33	浅間中学校	11	459	6,419	14.0
計	33校	349	14,935	275,172	18.4

(体育館利用の種目別クラブ数)

バレーボール	93クラブ
フットサル	70クラブ
バスケットボール	42クラブ
卓球	40クラブ
剣道	30クラブ
パドミントン	21クラブ

空手道	13 クラブ
インディアカ	7 クラブ
ミニバスケットボール	5 クラブ
ラリーテニス	5 クラブ
サッカー	6 クラブ
軽スポーツ	4 クラブ
新体操	3 クラブ
野球	2 クラブ
軟式野球	2 クラブ
機械体操	2 クラブ
ネオホッケー	1 クラブ
杖道	1 クラブ
太極拳	1 クラブ
合気道	1 クラブ

出典：府中市スポーツ推進委員会会報

(4) 使用料

一般開放を利用する団体の使用料は原則有料とされていますが、教育委員会に社会教育関係団体の登録をした団体は無料で使用できるようになっています。ただし、夜間照明設備の使用料は減免の対象となっておりません。

(5) 取組拡大の可能性

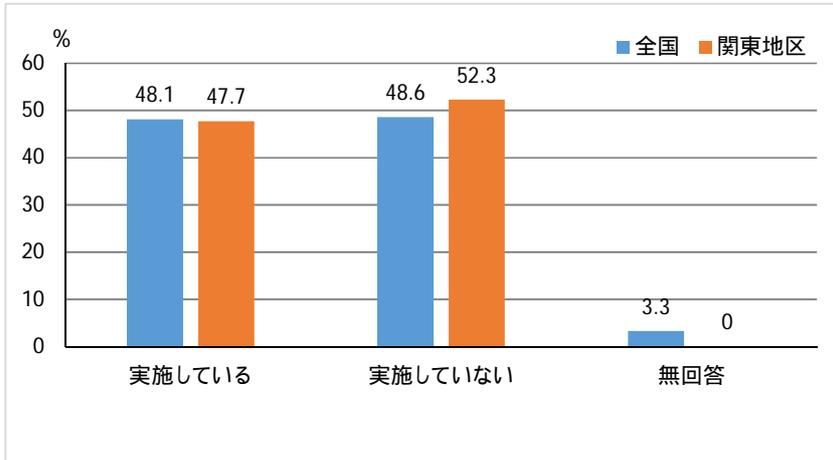
開放されている学校施設は非常に多くの市民に利用され、ニーズが高いことがうかがえますが、既存の学校施設の多くは開放を想定した造りとなっていないため、特に校舎内の諸室を開放するためには、動線やセキュリティなどの課題が生じてしまうと考えられます。

このことから、動線や諸室の配置、形状を抜本的に見直すことができる建替え時に、開放する範囲を広げることが、現実的な選択肢の1つと考えられます。

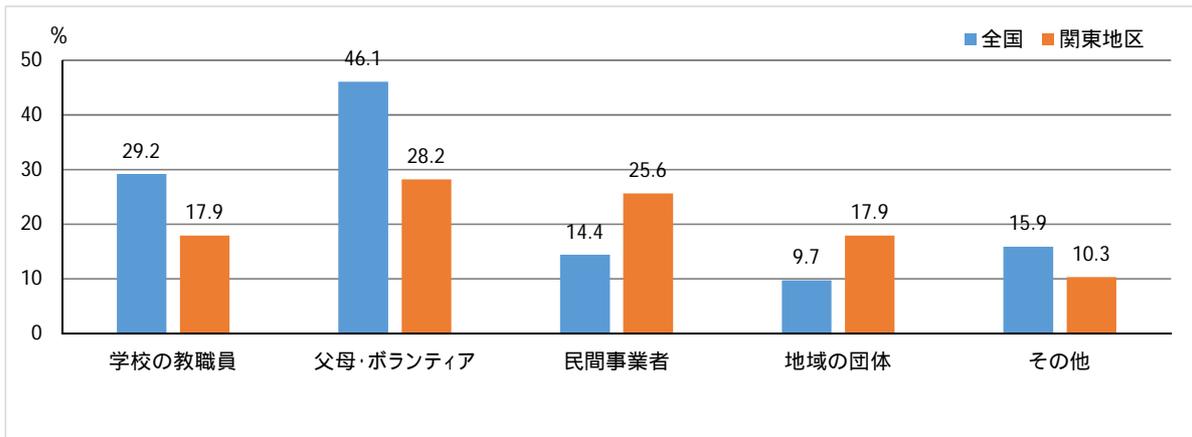
一方で、学校プールについては、既に開放されている校庭や体育館と同様、校舎とは異なる位置に整備されていることが多く、他自治体においても開放している事例が多いため、既存施設であっても開放できる可能性は高いと考えられます。ただし、学校プールを開放する際の運営については、教員の負担が増えないような配慮が求められます。

図 学校プールの一般開放の状況(全国)

実施状況



運営者



出典: 公共プール・学校プールの衛生・安全に関する実態調査
(公益社団法人日本プールアメンティ協会 平成23年3月)

表 学校プールの一般開放の状況(多摩地域・平成26年度)

NO.	自治体名	市立学校数 小学校/中学校	学校プールの 開放状況	実施学校数 小学校/中学校	1校当たりの 実施日数
1	八王子市	70校/38校	実施	8校/0校	6日
2	立川市	20校/9校	実施(一般開放)	14校/0校	1~5日
			実施(練習会)	1校/4校	1~18日
3	武蔵野市	12校/6校	実施	0校/1校(屋内)	155日(4~11月)
4	三鷹市	15校/7校	実施	1校/0校	7日
5	青梅市	16校/10校	非実施	-	-
6	府中市	22校/11校	非実施	-	-
7	昭島市	14校/6校	実施	2校/0校	3日
8	調布市	20校/8校	実施(一般開放)	1校(屋内)/0校	年間
			実施(児童開放)	19校/0校	5~10日
9	町田市	42校/20校	実施(一般開放)	0校/3校(屋内)	年間
			実施(児童開放)	38校/1校	5日
10	小金井市	9校/5校	非実施	-	-
11	小平市	19校/8校	非実施	-	-
12	日野市	17校/8校	休止	-	-
13	東村山市	15校/7校	非実施	-	-
14	国分寺市	10校/5校	実施	10校/0校	5日
15	国立市	8校/3校	実施	3校/1校	10日・17日
16	福生市	7校/3校	非実施	-	-
17	狛江市	6校/4校	実施	0校/1校	10日
18	東大和市	10校/5校	非実施	-	-
19	清瀬市	9校/5校	非実施	-	-
20	東久留米市	13校/7校	非実施	-	-
21	武蔵村山市	9校/5校	非実施	-	-
22	多摩市	18校/9校	実施	2校/0校	1日・4日
23	稲城市	12校/6校	実施(一般開放)	12校/6校	4日
			実施(地域開放)	1校/0校	18日
24	羽村市	7校/3校	非実施	-	-
25	あきる野市	10校/6校	非実施	-	-
26	西東京市	19校/9校	実施	1校/0校	4日

府中市調べ

学校プールの一般開放 実施 13市/26市

3 学校施設の複合化

(1) 法令等による位置付け

学校施設の複合化の取組は、法令で定められたものではありません。ただし、文部科学省における検討は、公表されているだけでも数十年前から行われており、それらを踏まえた各自治体における取組が広がってきている様子もうかがえます。

複合化の取組は決して特別な取組ではないということを認識し、国における検討状況や先進事例などを踏まえ、府中市においても現状に即した考え方を取りまとめ、進めていく必要があります。

表 文部科学省における学校施設の複合化に関する取組

平成2年3月「文教施設のインテリジェント化について」

人々の学習意欲の高まりや、多様かつ高度な学習需要の増大に伴い、文教施設を相互に有機的に連携させることによって、地域における総合的かつ体系的な学習環境の形成を目指していくため、施設の計画上の留意事項を提示したものの。

平成3年2月「学校施設の複合化について」

「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」(平成2年法律第71号)の施行や週休2日制の普及などを背景に、地域における総合的な生涯学習基盤の整備を推進するとともに、学校教育環境の質的な向上を図るため、学校施設の複合化に関する計画・設計上の留意事項を提示したものの。

平成9年10月「複合化及び高層化に伴う学校施設の計画・設計上の配慮について」

都市化が急速に進む中で、学校と様々な地域施設等との複合化や学校建物の高層化に関し、良好な学習環境を確保するための基本的な考え方を提示したものの。

平成11年6月「高齢者との連携を進める学校施設の整備について」

中央教育審議会第2次答申(平成9年6月1日)において提言された「高齢社会に対応する教育の在り方」を踏まえ、学校が地域の高齢者と連携を図り、交流を進めていくため、学校施設整備面の方策を検討し、施設整備上の留意事項を提示したものの。

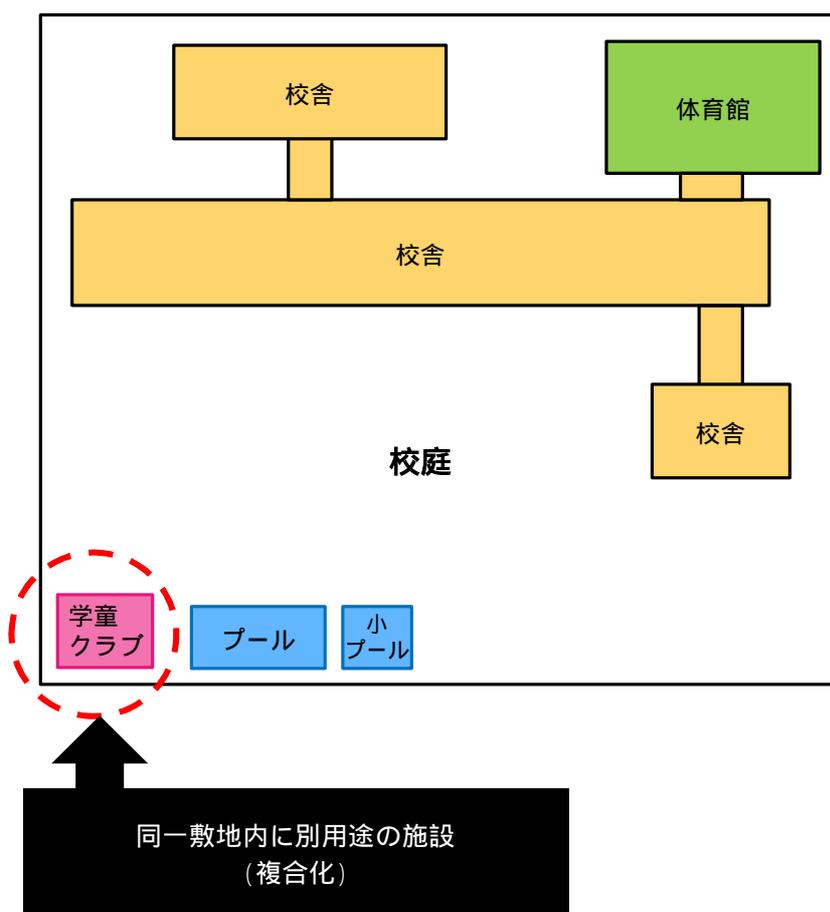
平成27年11月「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について」

教育振興基本計画(平成25年6月14日)や、インフラ長寿命化基本計画(平成25年11月)に基づき、今後、地方公共団体における学校施設と他の公共施設との複合化の機会が増加することを見据え、学校施設の複合化に係る基本的な考え方と、施設の計画・設計上の留意事項等を提示したものの。

(2) 複合化する他の公共施設

府中市では、学校施設と同一の建物内に他の施設を設置した事例はありませんが、同一の敷地内に設置した事例として、学童クラブが挙げられます。同一敷地内に両施設が設置されることによるメリットとしては、利便性の向上や安全性の確保といったことが考えられます。

図 学童クラブと複合化した小学校の施設配置(例)



国が行ったアンケート調査の結果からは、学童クラブを複合化する事例が全国的にも多いことや、公民館や体育館、保育所など、様々な種類の施設が学校施設と複合化されているということが示されています。また、複合化する際の施設の整備手法については、どのような施設を複合化するかによって変わる様子も見られます。

表 全国の公立小中学校における複合化した公共施設等の種類別件数

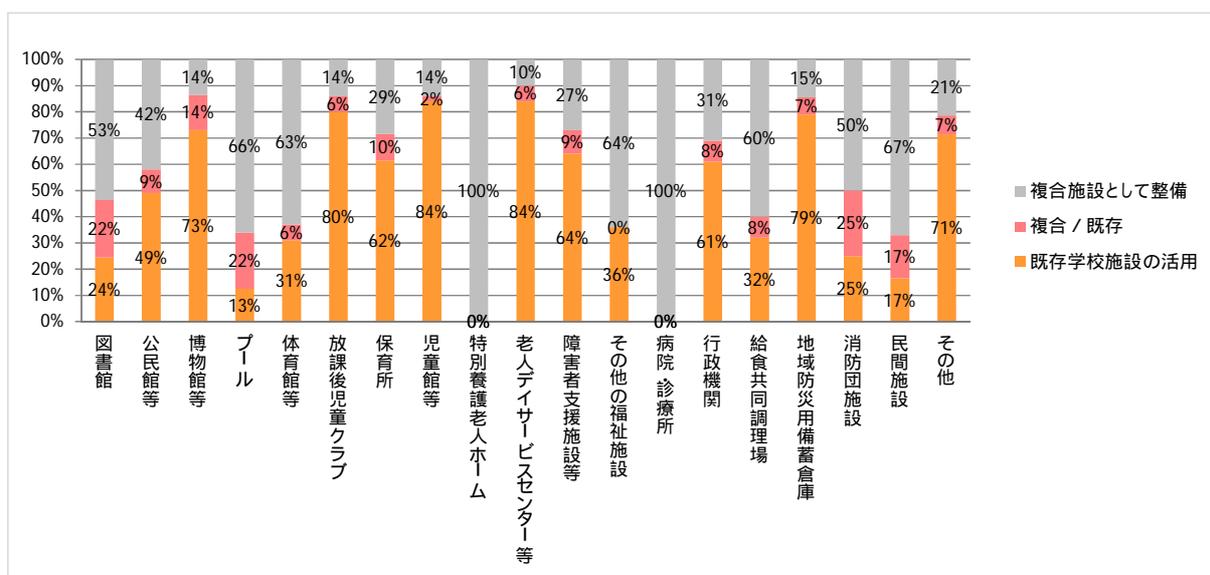
施設区分	文教施設					社会福祉施設						
	社会教育施設			社会体育施設		児童福祉施設			高齢者福祉施設		障害者支援施設等 ⁶	その他の社会福祉施設
施設種別	図書館	公民館等 ¹	博物館等 ²	プール	体育館等 ³	放課後児童クラブ	保育所	児童館等 ⁴	特別養護老人ホーム	老人デイサービスセンター等 ⁵		
小学校	38	383	17	18	42	6,294	97	354	0	98	10	11
中学校	7	60	5	14	68	39	15	7	2	13	1	3
計	45	443	22	32	110	6,333	112	361	2	111	11	14

施設区分	文教施設・社会福祉施設以外の施設							計
	病院・診療所	行政機関	給食共同調理場	地域防災用備蓄倉庫	消防団施設	民間施設	その他	
小学校	3	32	99	4,036	3	5	13	11,553
中学校	2	17	54	1,517	1	1	15	1,841
計	5	49	153	5,553	4	6	28	13,394

- 1 公民館、集会所、コミュニティ施設等 2 博物館、文化施設等 3 体育館、武道館等 4 児童館、児童発達支援センター等
 5 老人デイサービスセンター、介護予防支援センター 6 地域活動支援センター、身体障害者福祉センター

出典：学校学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について
 (平成27年11月 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

図 複合化した公共施設等の整備方法別割合



出典：学校学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について
 (平成27年11月 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

3 東京都品川区 品川区立第一日野小学校

5つの教育・文化施設を一体的に整備

- ・図書館、音楽ホール、プラネタリウム等、多様な施設との複合化
～多世代が集う地域の学習・文化活動の拠点
- ・連携した運営により、積極的な施設の有効活用・人材交流を実施

- 学校規模 / 17学級 527名
(特別支援学級 / 4学級 26名)
- 複合施設(床面積) / 小学校 (7,830㎡)
幼保一体施設 (1,475㎡)
図書館 (1,181㎡)
文化センター (4,508㎡)
教育センター (1,454㎡)
- 整備時期 / 平成3年
- 構造 / RC造一部S造地上6階塔屋1階



小学校の図書室に設けられた幼児用の読書スペース

施設整備に要した期間(構想・計画等から工事まで)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
構想・計画等	⇨平成18年7月小学校改築工事建設準備会(全3回)			⇨平成20年4月小学校改築工事建設準備会(全2回)	
設計		⇨平成19年4月～20年3月設計		⇨平成20年5月～23年3月設計	
工事			⇨平成19年4月～20年3月設計	⇨平成20年5月～23年3月設計	

施設整備の背景

- ・改築前は、現在の敷地に中学校・教育総合会館(図書館・教育センター)、文化センターがあり、その隣地に第一日野小学校及び幼稚園があった。
- ・中学校の移転に伴い、跡地に小学校を改築。既存の教育総合会館を改修・増築し、幼保一体施設も同時に整備した。

管理・運営の体制

施設	利用時間(平日)				所管	管理・運営
	8	12	17	22		
小学校	←	→	→		教育委員会	教育委員会
幼保一体施設	←	→	→		区長部局	区長部局
図書館	←	→	→		教育委員会	教育委員会
文化センター	←	→	→		区長部局	区長部局
教育センター	←	→	→		教育委員会	教育委員会

- ・施設全体の維持管理業務は民間の管理業者に委託。

施設の配置・動線

- ・各施設は明確に区分されている。(児童・園児・地域の動線は交わらない。)
- ・敷地の高低差を生かしつつ、各施設を利用しやすく配置している。

<立面図>



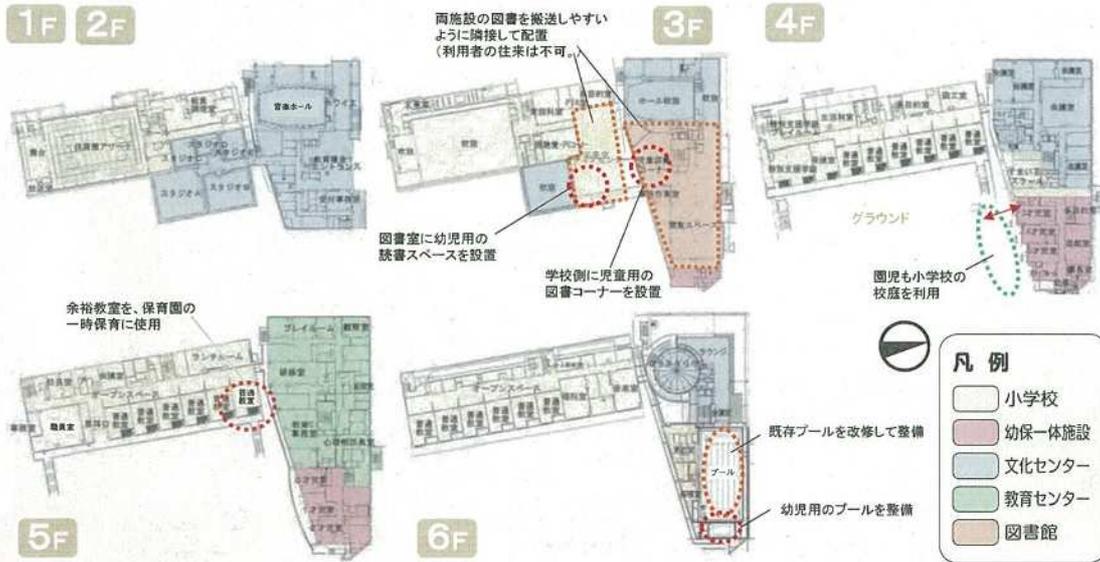
<配置図>



凡例 □ → 小学校 □ → 幼保一体施設 → 地域 □ 教育複合棟

平面計画上の特徴

- ・各施設は明確に区分されており、動線が交わらないように設計されている。
- ・品川区が推進する、小学校と幼稚園・保育園との連携教育に応じた整備がされている。



相互利用・交流活動

- ・小学校の校庭や体育館を幼保一体施設でも使用
- ・幼児用のプールや読書スペースを、小学校内に設置
- ・小学校の余裕教室を、保育園の一時保育やPTA活動に使用

- ➔ 小学校の設備とスペースを幼児教育にも活用
- ・小学校・幼稚園・保育園における教育活動に連続性を持たせた

- ・学校の図書室で、隣接する区立図書館の資料も貸出しが可能
- ・設備の整った音楽ホールを、音楽発表会等で使用 (使用料無料)
- ・授業や親子教室等でプラネタリウムを活用

- ➔ 学校教育にも公共施設を有効的に活用



小学校と幼保一体施設が共有する校庭



小学校プールの脇の幼児用プール

防犯対策

- ・施設を明確に区分している。
- ・学校の図書室と区立図書館は、一体的な利用も可能であるが、安全性を確保する観点から、現状として別々に施設管理している。



地域の利用者の出入口となる教育複合棟のエントランス



学校の図書室と区立図書館は中庭を挟んで向かい合っている

- ➔ 地域の実情に応じた対応により、児童の安全を確保

施設間の連携

各施設の担当者間で毎月合同の打合せを実施。各施設の活動予定や防犯訓練等について話し合うなど密に連携を取っている。

- ➔ 運営面の工夫により、施設間の交流・相互利用を促進

地域の拠点

- ・小学校、幼保一体施設、教育センターといった地域の教育施設と、音楽ホール・プラネタリウム・スタジオ等、地域の文化施設が集約された、地域の教育・文化活動の拠点施設となっている。

- ➔ 多様な施設に囲まれていることで、日常的に学習や文化に対する関心や活動の機会が高まる



設備の整った音楽ホールでは日々様々な催しが行われている



授業等でも活用できる文化センターのプラネタリウム



学校教育に関する相談ができる教育相談センター

委員の意見より

- ・多様な施設で構成された高機能な教育施設が整っているだけでなく、相互利用を可能にする運営が行われていることが、児童の教育効果をあげているのではないかと。
- ・大都市における学校と地域との連携には限界がある。このため、施設の複合化を通じて、自然に子供たちが、社会の多様な面に触れたり、地域住民が学校に対する理解を深めたりすることができるのではないかと。

出典：学校学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について
(平成27年11月 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

(3) 取組拡大の可能性

全国的にも学校施設の複合化の事例は多くあり、府中市においても実施することは可能と考えられます、

学校施設の複合化を進める際には、既存施設を活用する方法と建替え時に新たに整備する方法の2通りありますが、いずれの場合も市内全体の施設配置や市民ニーズを十分考慮して進める必要があります。また、全ての学校を一斉に複合化する必要はなく、それぞれの地域や学校施設の状況に応じて複合化できるかどうか、どのような機能と複合化するかなどを検討し、進めていく必要があります。

なお、学校施設の複合化を進める際には、学校教育の機能を低下させることのないような配慮も求められます。

第4章

学校施設の更なる活用に向けた方向性

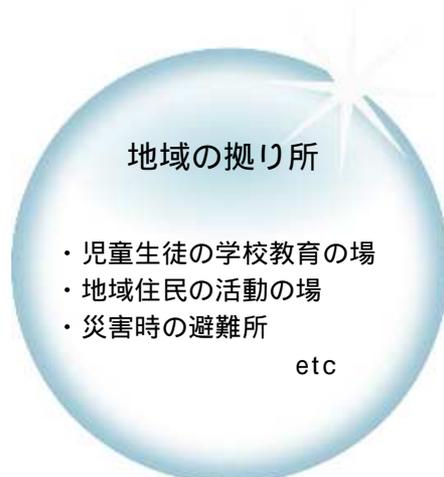
1 取組全体の方向性

小中学校は学校教育の場としてだけでなく、開放時には地域住民が利用したり、災害時には避難所が開設されたりと、既に多様な目的で利用されています。このようなことから、学校施設は地域住民の拠り所となる施設であると考えられます。

そのような学校施設の活用範囲を広げ、新たな市民サービスを提供することは、利用者と学校との新たなつながりを生み出し、学校と地域住民の結び付きを一層強くする効果が見込まれます。そして、地域に開かれた学校作りが求められているなかで、双方の協力体制の構築につなげていくことも期待されます。

今後、学校施設を新たな市民サービスの場として活用するとともに、教育機能の向上につなげられるよう、府中市の現状を踏まえた効果的な学校施設の活用を図っていかねばなりません。

図 学校と地域住民の関係性



2 学校開放の方向性

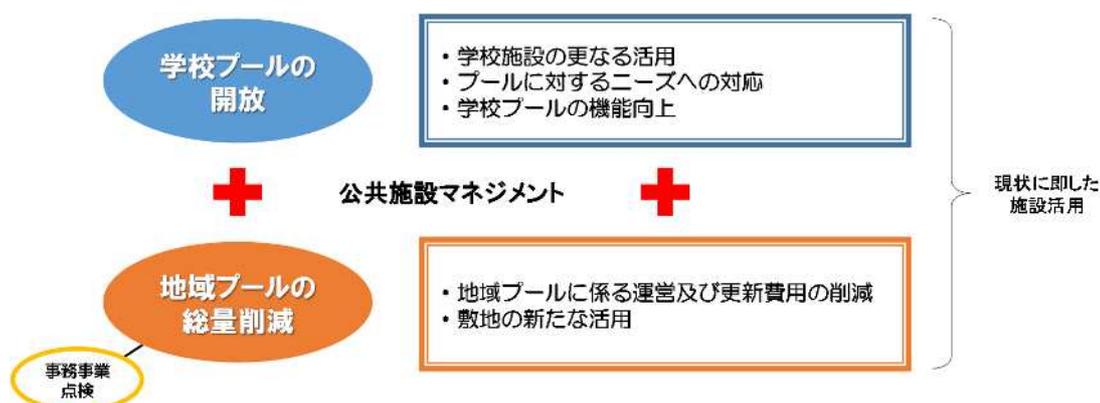
(1) 基本的な考え方

学校開放の取組については、当面児童生徒数の大幅な減少が見込まれないという状況を踏まえ、短期と長期に分けた取組の方向性を定めることが考えられます。

短期的には、これまでと同様に校庭や体育館を中心とした運用を続けながら、夏休み期間中の学校プールの開放を地域プールの見直し（廃止）とともに進めていく必要があります。

一方、長期的には、人口や社会情勢の変化等に伴い、地域における学校の位置付けが今後変化していくことも予想されるため、それに応じた新たな学校開放のあり方を地域住民とともに作りあげていくことが考えられます。

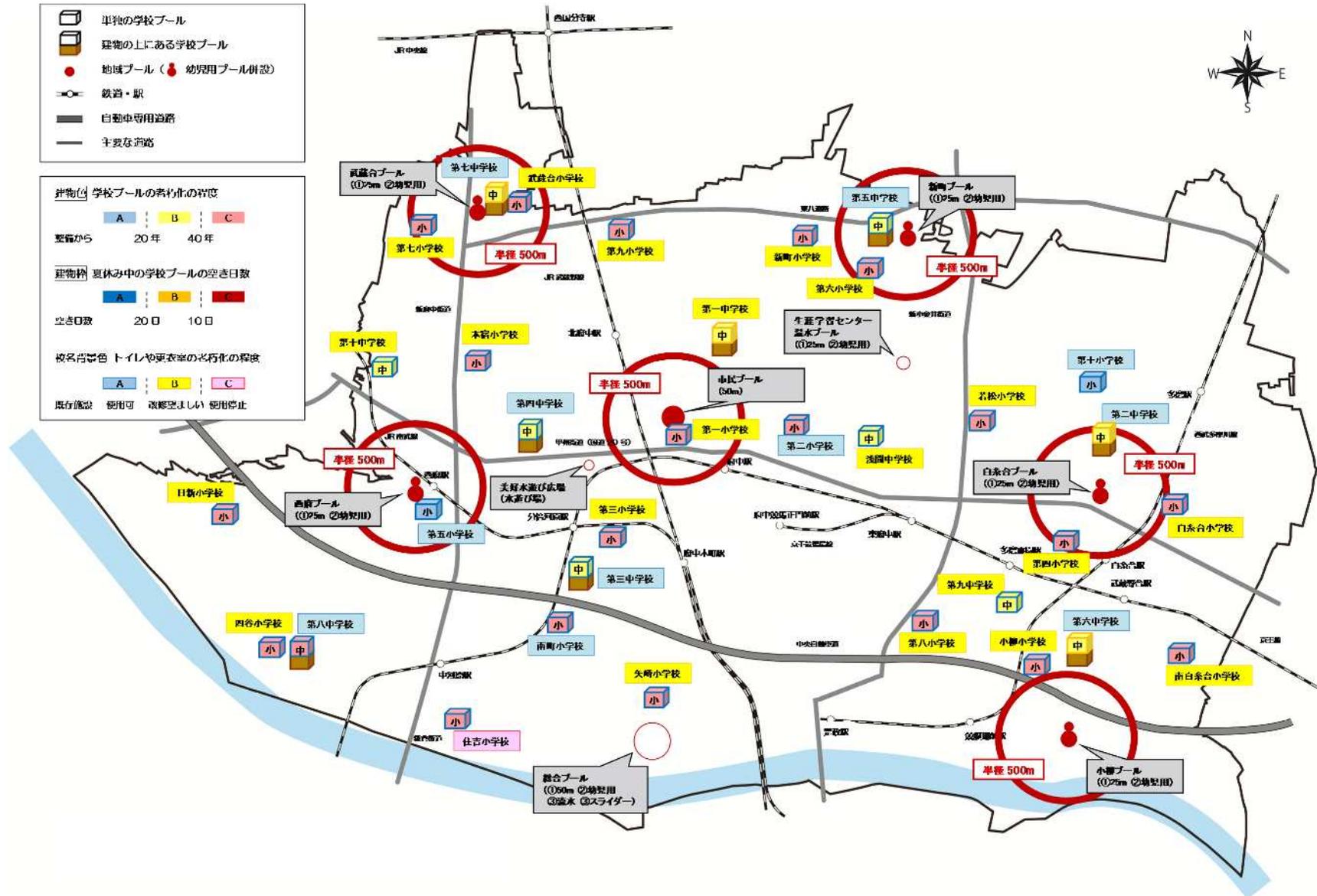
図 学校開放に係る短期的な取組



(2) 学校プールを開放する学校数

地域プールの利用者数を踏まえると、全ての学校でプールを開放する必要性はないと考えられます。施設の老朽化の状況や公共プールの見直し後の配置状況、運営にかかる費用などを踏まえ、いくつかの学校を選定して実施することが重要となります。また、具体的に施設を選定する際には、様々な情報を客観的に示したデータを用いた上で、教育委員会や市民の意見、さらには現場を熟知する教員の意見も参考に進めていかなければなりません。

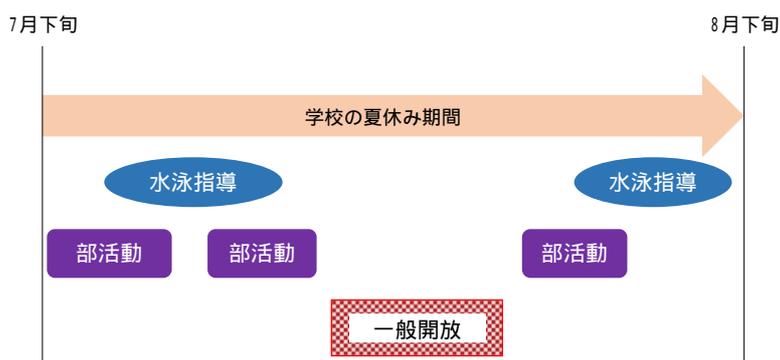
図 学校プールの開放に係る各種情報(例)



(3) 学校プールの開放期間

学校開放は学校教育上支障のない範囲内で行う必要があり、屋外プールという施設の特性も踏まえると、学校プールの開放期間は夏休み期間中に合わせる必要があります。ただし、夏休み期間中であっても児童生徒の水泳指導や部活動を行う日時があるため、その日時と開放時間が重複しないよう配慮しなければなりません。

図 学校プールの開放期間の設定



(4) 学校プールの開放時の運営

学校プールを開放する際の運営については、安全性の確保を基本とした上で、教員の負担軽減や柔軟な施設運営などの観点から、民間事業者への委託による運営が最適と考えられます。また、更衣室やトイレ等の設備についても、利用者に支障がない水準で提供する必要があります。

(5) 大きな枠組みによる地域プールの見直し

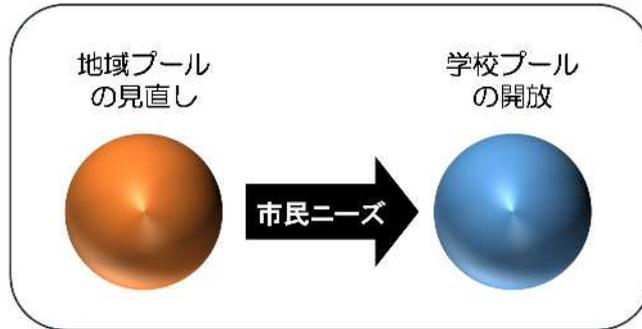
利用者数からも明らかなように、公共プールに対するニーズは施設の設置時に比べ、大きく変化しています。また、市民や児童生徒を対象としたアンケートの結果からは、公共プールだけでなく、民間プールの利用者数も一定数存在することが明らかになっています。

これらのことから、地域プールは廃止の方向性で早急に取り組むべきと考えられます。また、開放する学校プールを単に地域プールの代替施設として捉えて進めるのではなく、他の公共プールや民間プールも含めた大きな枠組みのなかで、市民ニーズや各プールの役割分担などを整理し、進めていく必要があります。なお、地域プールの中で一部特徴が異なるプールもあるため、廃止の可否については施設単位で判断していくことも考えられます。

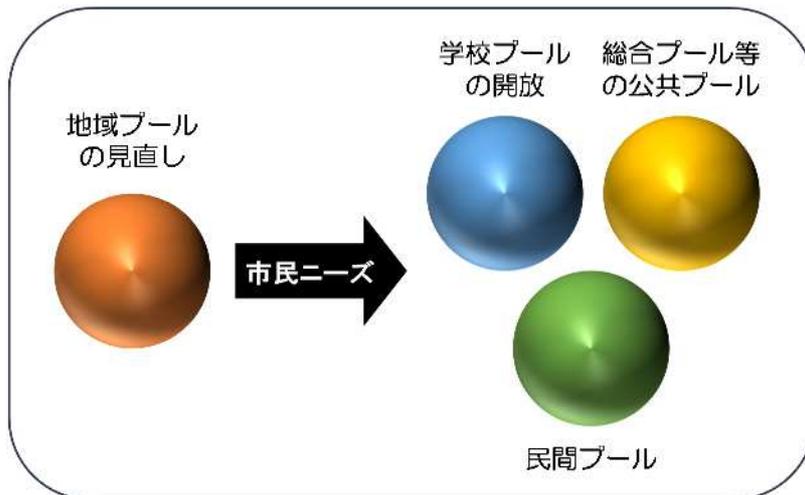
図 地域プール見直しの枠組み



小さな枠組み



大きな枠組み



整理

- ・プールに対する市民ニーズ
- ・各プールの役割分担

3 学校施設の複合化の方向性

(1) 基本的な考え方

学校施設の複合化により、施設の量と質、両面での効果が期待されます。量の面では、余裕スペース（教室）や敷地を最大限活用し、市全体の施設の総量を圧縮する効果が挙げられます。また、質の面では、学校施設の高機能化・多機能化、児童生徒と施設利用者の新たな交流などが挙げられます。

府中市で公共施設マネジメントの取組を一層推進するためには、学校施設の複合化が重要な取組になると考えられます。今後複合化の取組をより良いものにしていくためにも、まずは、市と教育委員会、そして市民が知恵を出し合い、複合化に対する考え方をまとめていかなければなりません。

なお、学校施設の複合化に当たって整理すべき主な項目としては、次の3つの項目が挙げられます。

児童生徒の安全性の確保

単独の学校施設であれば児童生徒や学校関係者だけであった利用者が、複合化により、不特定多数の利用者となることも考えられます。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、ハードとソフト両面からの対策を整理する必要があります。

複合化する機能の選定

学校施設と複合化する機能としては、様々なものが考えられますが、府中市における他の施設の老朽化の状況や市民ニーズを踏まえ、検討していかなければなりません。また、学校施設ごとに周辺環境が異なることから、各地域に応じた機能を整備するという事も考えられます。

学校教育への支障の回避

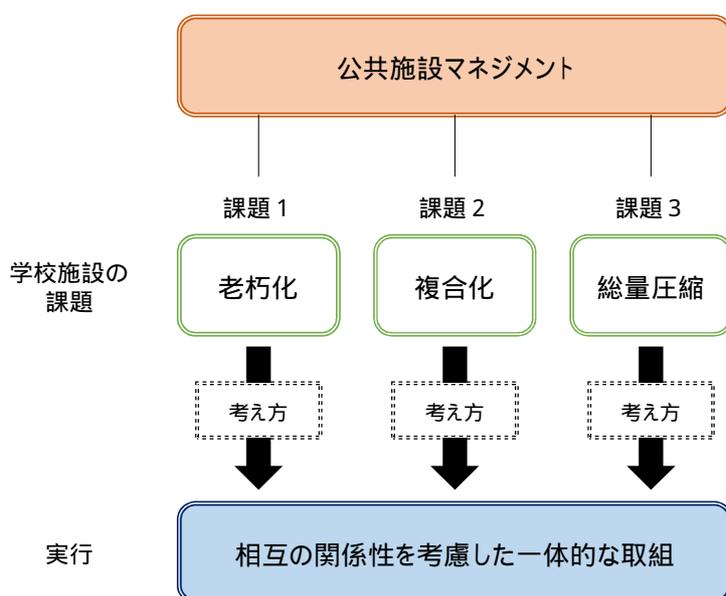
学校施設との複合化により、児童生徒と施設利用者の動線の交錯や、活動によって生じる音の授業への干渉など、学校教育に支障が及ぶことは避けなければなりません。複合化の際には、施設の配置や防音性の確保などについて考慮するとともに、複合化する施設の利用方法や利用時間等について相互に情報共有を図り、学校教育に支障を与えないルール作りといったことも合わせて進めていく必要があります。

(2) 各課題に対する一体的な取組

学校施設が抱える課題は様々あるなかで、府中市では、老朽化対策を喫緊の課題と捉え、これまで検討が進められてきました。学校施設の現状を踏まえれば、老朽化対策が最も大きな課題であることに違いはありませんが、市の施設全体の最適化に向けて、複合化や総量圧縮といった課題にも正面から取り組んでいかなければなりません。

現在の進め方では、学校施設の老朽化という課題を解決するためだけの建替えや改修が行われ、その後、改めて複合化に伴う改修や総量圧縮を進めるという事態になりかねなく、過剰な投資や非効率的な施設整備を招くおそれがあります。そうならないためにも、それぞれの課題の関係性を意識し、一体的に取り組んでいかなければなりません。

図 各課題に対する一体的な取組



第5章

取組の着実な実行に向けて

1 取組の前提となる情報の共有

学校施設の更なる活用を進めるに当たっては、まずは公共施設マネジメントの重要性や学校施設の課題等を庁内や教育委員会、学校関係者などと共有することが重要となります。

取組の前提となるこれらの情報を共有することにより、具体的な方策を検討する段階において、円滑な議論と速やかな実行につなげていくことが可能となります。

2 市と教育委員会の連携体制の構築

教育施設を教育機能以外でも活用していくためには、市と教育委員会がその目的を理解し、共に進めていかなければなりません。そのためには、庁内において具体的な検討を進める委員会の設置など、連携体制を構築することが重要となります。

3 幅広い市民の意見の確認

学校施設の活用事例は様々ありますが、府中市の状況に対応した活用を図るためには、市民ニーズを的確に捉えていかなければなりません。そのためには、今後幅広い市民を対象としたアンケートやモニター調査などを実施し、多くの人が利用する学校造りに反映していくことが重要となります。

4 地域住民との協働

地域における学校施設の位置付けは、他の公共施設とは異なる性質を有しています。新たな活用を図る際には、そのことを十分認識した上で、地域住民と共に作り上げていくことが重要となります。

5 スピード感を持った取組の実行と改善

行政の取組は、検討に長期間を要するとともに、全ての項目を定めてから初めて実行に移すことが多いように感じられます。これでは、実施のタイミングを逃すとともに、失敗した際の影響が非常に大きなものとなってしまいます。

老朽化が進む学校施設の取組を進める際には、スピード感を持った実行が必要不可欠であることから、一定の方向性が固まり次第、速やかに場所や期間を定めた上で段階的に実施し、そこで得られた成果や課題を取組に反映していくことが重要となります。

参 考 资 料

資料1 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の設置等に関する規則

平成27年3月18日

規則第7号

(趣旨)

第1条 この規則は、府中市附属機関の設置等に関する条例第2条第2項の規定に基づき府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会(以下「協議会」という。)を設置し、その組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「モデル事業」とは、公共施設の効果的かつ効率的な活用のため、市長が別に定める異なる用途の施設の機能等の組み合わせによる効果を検証する事業をいう。

(所掌事務)

第3条 協議会は、市長の諮問に応じて、モデル事業の実施に関する事項について調査審議するものとする。

(組織)

第4条 協議会は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する委員7人をもって組織する。

- (1) 学識経験を有する者 2人
- (2) 学校関係団体の推薦する者 2人
- (3) スポーツ関係団体の推薦する者 1人
- (4) 公募による市民 2人

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、前条の規定による委嘱のあった日から平成28年3月31日までとする。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれらを定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第7条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 協議会は、過半数の委員の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

付 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則は、第5条に規定する委員の任期が満了する日限り、その効力を失う。

資料2 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会委員

	区分	氏名	備考
1	学識経験者	木村俊介	一橋大学 大学院法学研究科教授
2		山本康友	首都大学東京 都市環境学部客員教授
3	学校関係 団体の代表	正木太朗	府中市立小中学校PTA連合会
4		谷合しのぶ	府中市立小中学校校長会
5	スポーツ関係 団体の代表	近藤靖明	特定非営利活動法人 府中市体育協会
6	公募市民	澤田浩宜	-
7		内藤治	-

(会長、副会長)

(選出区分・50音順、敬称略)

資料3 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の検討経過
 (モデル事業2「学校施設の更なる活用」)

回	開催日	主な内容
第1回	平成27年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の選出 ・委嘱状伝達 ・会議の公開等 ・公共施設マネジメントの全体像及びモデル事業の概要 ・検討協議会の進め方 ・対象施設の現状整理
第2回	平成27年8月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設の現地確認 ・学校施設の活用に向けた市民アンケートの実施
第3回	平成27年9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・対象施設の現状把握 ・学校プールの開放に係る状況整理 ・国及び他自治体における学校施設の複合化の取組
第4回	平成27年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の活用に向けたアンケート調査の結果 ・学校プールの活用に向けた再整理 ・今後の検討スケジュール
第5回	平成28年1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・検討結果のとりまとめ ・学校施設の更なる活用に向けた方向性 ・今後の取組の進め方
第6回	平成28年3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書(案)

資料4 学校施設の更なる活用に関する市民アンケートの結果（概要）

調査の概要

1 目的

府中市では、公共施設（建築物）を自治体経営の視点から総合的に企画、管理及び有効活用していくため、公共施設マネジメントの取組を推進しており、平成26年8月には、各施設における検討内容やスケジュールなどを定めた「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」を策定しました。同プランでは、取組全体の推進力を高めていくためのモデル事業を定めており、今年度は「学校施設の更なる活用」として、様々な機能を有する学校施設の更なる活用に向け、機能が重複する学校プールと地域プールの課題の整理や活用方法、学校施設の複合化など、将来を見据えた検討を行っています。

この検討に当たり、学校施設等に関する市民の皆様のご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施しました。

2 対象者及び実施方法

(1) 対象者

住民基本台帳より無作為に抽出した20歳以上の市民

(2) 実施方法

郵送によるアンケートの配布・回収

3 配付者数及び回答者数

配付者数	3,000人
回答者数	1,013人
回答率	33.8%

4 内容

学校施設等の更なる活用に向けた、現状把握と意見の募集

5 期間

平成27年9月15日～平成27年10月13日

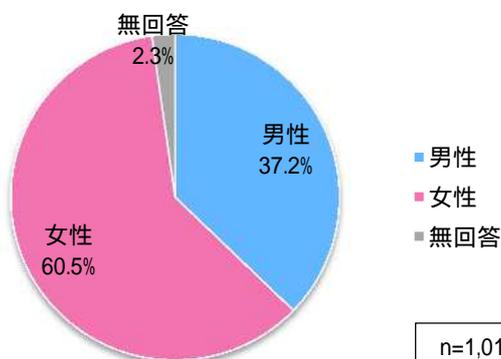
調査結果

次のページより、各設問に対する回答の集計結果を掲載します。

なお、集計結果から作成したグラフと表中の割合（％）は、端数処理の関係で必ずしも合致しない、または100％とならない場合があります。

0 . 回答者の属性

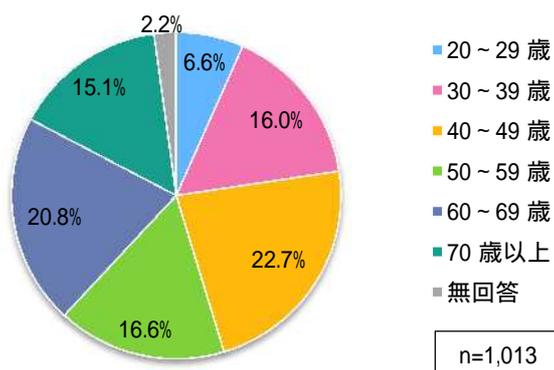
あなたの性別は？



選択内容	回答者数	割合
男性	377	37.2%
女性	613	60.5%
無回答	23	2.3%

- ・ 回答者のうち、全体の 6 割を女性が占めます。

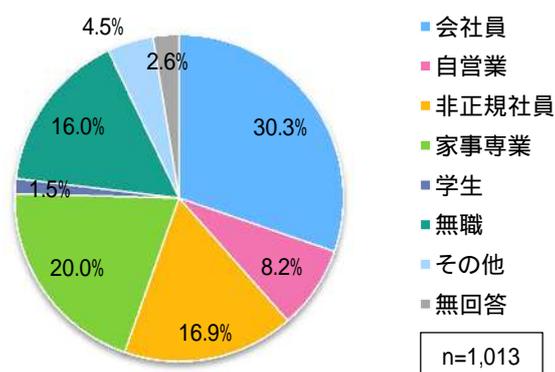
あなたの年齢は？



選択内容	回答者数	割合
20～29歳	67	6.6%
30～39歳	162	16.0%
40～49歳	230	22.7%
50～59歳	168	16.6%
60～69歳	211	20.8%
70歳以上	153	15.1%
無回答	22	2.2%

- ・ 20歳代の回答率が低いですが、比較的全ての年代からバランス良く回答を得ています。

あなたの職業は？



選択内容	回答者数	割合
会社員	307	30.3%
自営業	83	8.2%
非正規社員	171	16.9%
家事専業	203	20.0%
学生	15	1.5%
無職	162	16.0%
その他	46	4.5%
無回答	26	2.6%

あなたのお住まいの地域は？



n=1,013

選択肢	回答者数	割合
白糸台	68	6.7%
是政	53	5.2%
住吉町	51	5.0%
若松町	49	4.8%
押立町	44	4.3%
四谷	44	4.3%
新町	39	3.8%
紅葉丘	36	3.6%
小柳町	34	3.4%
西府町	32	3.2%
南町	31	3.1%
分梅町	30	3.0%
天神町	29	2.9%
武蔵台	29	2.9%
府中町	28	2.8%
緑町	28	2.8%
本町	27	2.7%
美好町	27	2.7%
本宿町	27	2.7%
浅間町	26	2.6%
宮町	26	2.6%
晴見町	25	2.5%
清水が丘	23	2.3%
北山町	20	2.0%
朝日町	18	1.8%
宮西町	18	1.8%
多磨町	17	1.7%
栄町	16	1.6%
西原町	16	1.6%
幸町	12	1.2%
八幡町	11	1.1%
矢崎町	11	1.1%
寿町	11	1.1%
日新町	10	1.0%
東芝町	9	0.9%
日鋼町	7	0.7%
片町	5	0.5%
無回答	26	2.6%

1. 公共施設マネジメントの方策について

市民共有の財産である公共施設について、将来の市民に負担を先送りすることなく、適切に引き継いでいくためには、様々な視点で検討する必要があります。各方策について、どのようにお考えになりますか。

- 1 実施すべき
- 2 どちらかと言えば実施すべき
- 3 どちらかと言えば実施すべきでない
- 4 実施すべきではない

【集計結果1 ～ 各項目の集計結果】

選択内容		回答者数 (割合)				
		1	2	3	4	無回答
総量圧縮	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	373 (36.8%)	400 (39.5%)	154 (15.2%)	61 (6.0%)	25 (2.5%)
広域連携	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	320 (31.6%)	386 (38.1%)	194 (19.2%)	91 (9.0%)	22 (2.2%)
公民連携	施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	462 (45.6%)	408 (40.3%)	91 (9.0%)	31 (3.1%)	21 (2.1%)
地域へ移管	地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	148 (14.6%)	308 (30.4%)	371 (36.6%)	156 (15.4%)	30 (3.0%)
長寿命化	建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	413 (40.8%)	412 (40.7%)	119 (11.7%)	43 (4.2%)	26 (2.6%)
売却・貸付け	施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	377 (37.2%)	421 (41.6%)	136 (13.4%)	49 (4.8%)	30 (3.0%)
水準引下げ	施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	174 (17.2%)	294 (29.0%)	357 (35.2%)	156 (15.4%)	32 (3.2%)
料金引上げ	使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	228 (22.5%)	312 (30.8%)	318 (31.4%)	124 (12.2%)	31 (3.1%)

【回答者数】1,013

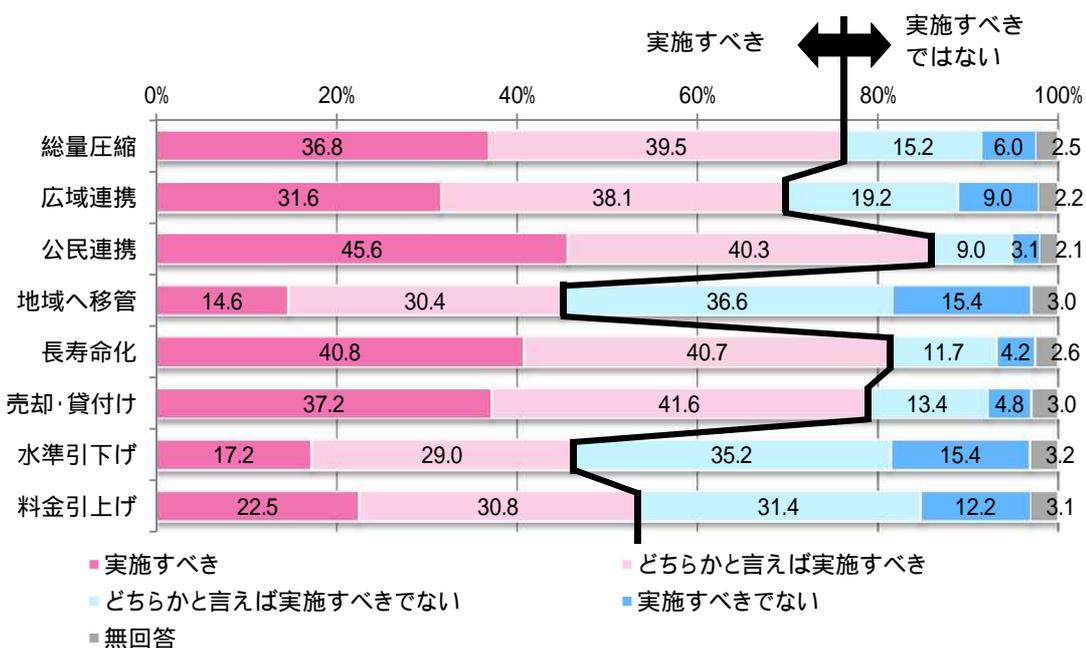
「その他」として挙げた意見（主な意見）

- 施設をもっとPRをした方が良い。
- 現在の運営や人件費の見直し、削減が先である。
- 駐車場等は現在無料の設備を一部有料化してもよい。
- 子育て世代に配慮した活用方法が望ましい。

【集計結果2 肯定的意見（1+2）と否定的意見（3+4）の集計結果】

選択内容		回答者数 (割合)		
		1+2	3+4	無回答
総量圧縮	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	773 (76.3%)	215 (21.2%)	25 (2.5%)
広域連携	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	706 (69.7%)	285 (28.1%)	22 (2.2%)
公民連携	施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	870 (85.9%)	122 (12.0%)	21 (2.1%)
地域へ移管	地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	456 (45.0%)	527 (52.0%)	30 (3.0%)
長寿命化	建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	825 (81.4%)	162 (16.0%)	26 (2.6%)
売却・貸付け	施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	798 (78.8%)	185 (18.3%)	30 (3.0%)
水準引下げ	施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	468 (46.2%)	513 (50.6%)	32 (3.2%)
料金引上げ	使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	540 (53.3%)	442 (43.6%)	31 (3.1%)

- ・ 「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計（肯定的な意見）が50%を超えているのは、『総量圧縮』（76.3%）、『広域連携』（69.7%）、『公民連携』（85.9%）、『長寿命化』（81.4%）、『売却・貸付け』（78.8%）、『料金引上げ』（53.3%）です。特に、『公民連携』と『長寿命化』については、80%以上と多数を占めています。
- ・ 「実施すべきではない」と「どちらかといえば実施すべきではない」の合計（否定的な意見）が50%を超えているのは、『地域への移管』（52.0%）と、『水準引下げ』（50.6%）です。



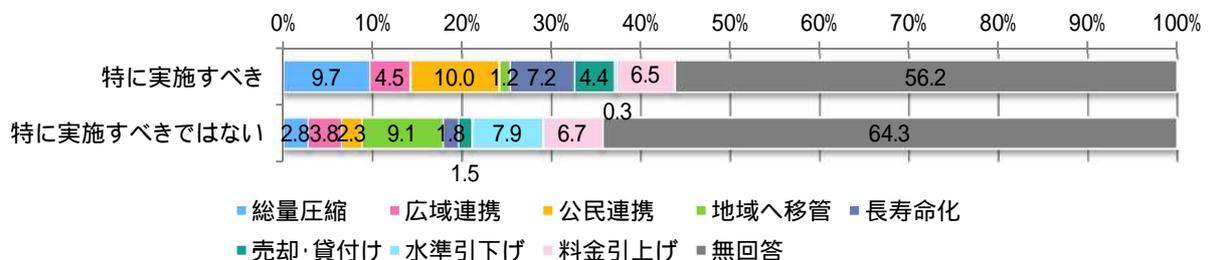
～ までの方策で、特に「実施すべき」あるいは「実施すべきでない」と思うものがありましたら、それぞれ該当する方策を1つ選択してください。

特に「実施すべき」方策

選択内容	回答者数	割合
現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	98	9.7%
近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	46	4.5%
施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	101	10.0%
地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	12	1.2%
建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	73	7.2%
施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	45	4.4%
施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	3	0.3%
使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	66	6.5%
特になし・無回答	569	56.2%

特に「実施すべきでない」方策

選択内容	回答者数	割合
現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす	28	2.8%
近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	38	3.8%
施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	23	2.3%
地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う	92	9.1%
建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	18	1.8%
施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る	15	1.5%
施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる	80	7.9%
使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる	68	6.7%
特になし・無回答	651	64.3%

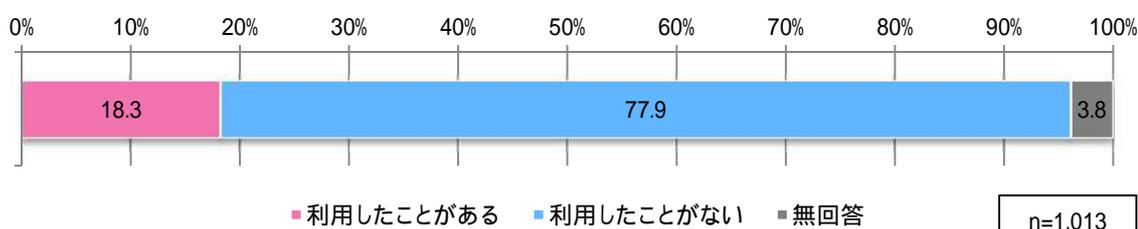


2. モデル事業2「学校施設の更なる活用」について

(1) 現在の学校施設の一般開放について

市では、登録した市民団体に対して、教育上支障のない範囲で、夜間や休日に学校の校庭や体育館、武道館の開放を行っています。
学校施設の一般開放を利用したことがありますか。

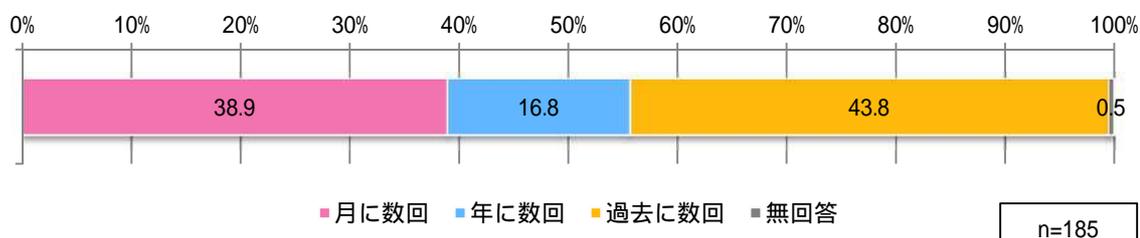
選択内容	回答者数	割合
利用したことがある	185	18.3%
利用したことがない	789	77.9%
無回答	39	3.8%



- ・ 利用したことがある人はあまり多くなく、約80%の人は利用したことがない状況です。

で「利用したことがある」と回答した方は、どのくらいの頻度で利用していますか。

選択内容	回答者数	割合
月に数回	72	38.9%
年に数回	31	16.8%
過去に数回	81	43.8%
無回答	1	0.5%



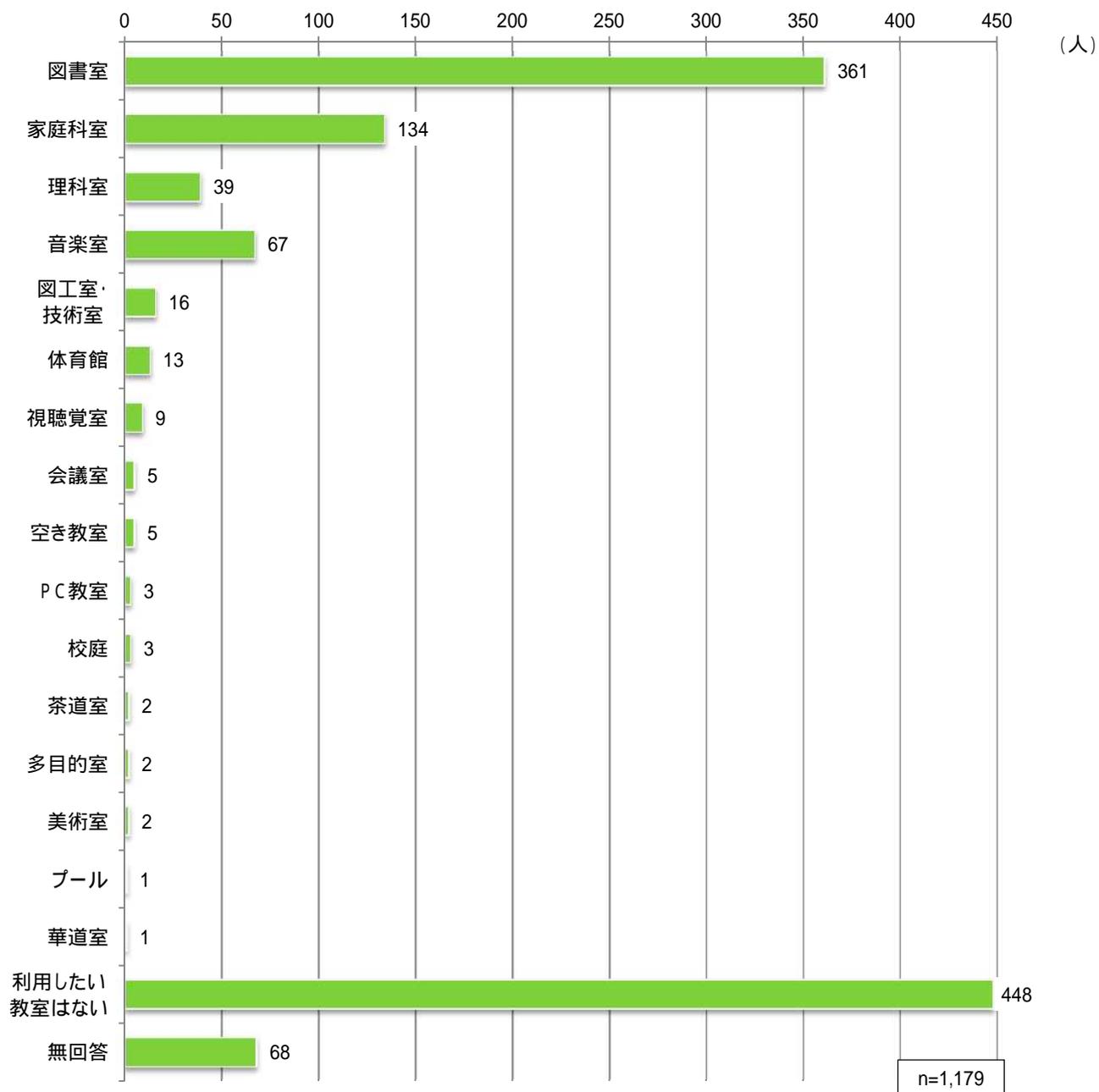
- ・ 利用頻度は、「月に数回」と「過去に数回」のという2つの傾向に分かれています。

校舎内の図書室や家庭科室などの教室は、現在一般開放を行っていませんが、仮に、教育上支障のない範囲で、開放されたら、利用したい教室はありますか。(複数回答可)

- 1 図書室を利用したい
- 2 家庭科室を利用したい
- 3 理科室を利用したい
- 4 上記以外の部屋を利用したい
- 5 利用したい部屋はない

選択内容		回答数	割合
図書室を利用したい		361	35.6%
家庭科室を利用したい		134	13.2%
理科室を利用したい		39	3.8%
上記以外の部屋を利用したい		129	13.1%
「上記以外の部屋を利用したい」 で挙げた教室の内訳	音楽室	67	6.6%
	図工室・技術室	16	1.6%
	体育館	13	1.3%
	視聴覚室	9	0.9%
	会議室	5	0.5%
	空き教室	5	0.5%
	PC 教室	3	0.3%
	校庭	3	0.3%
	茶道室	2	0.2%
	多目的室	2	0.2%
	美術室	2	0.2%
	プール	1	0.1%
華道室	1	0.1%	
利用したい部屋はない		448	44.2%
無回答		68	6.7%

【回答者数】1,013 【回答総数】1,179



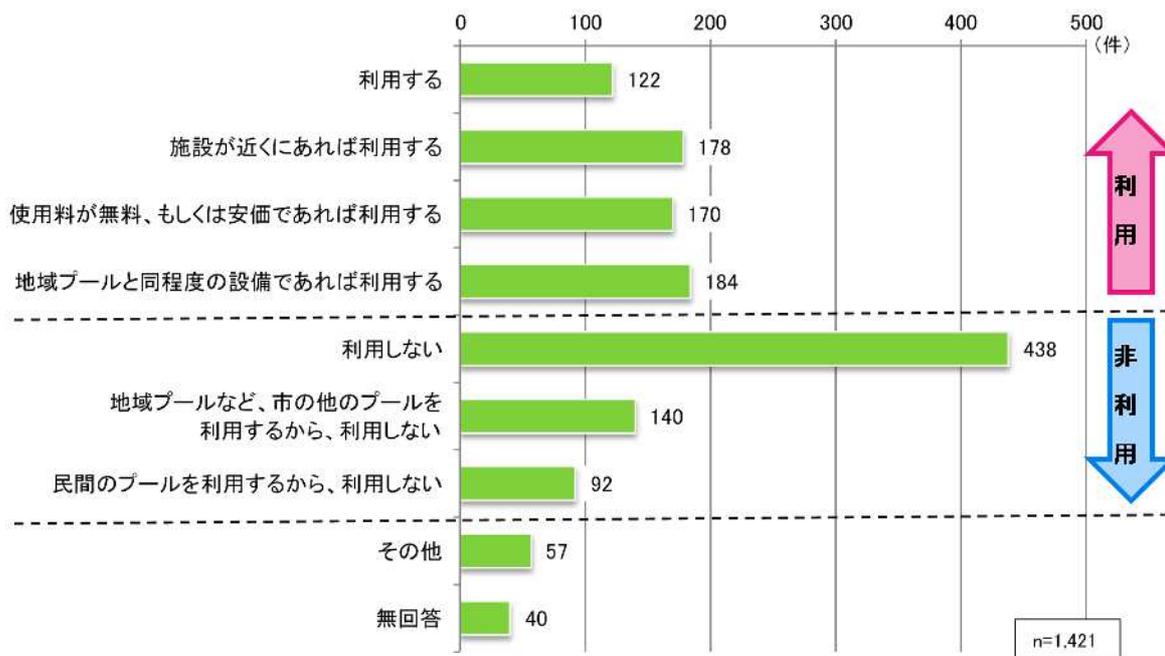
- ・ 「利用したい教室がない」と回答した人が最も多くなっています。
- ・ 利用したい教室としては、図書室が最も多く、また、「上記以外の部屋を利用したい」の中では、「音楽室」が多く挙がっています。

(2) 学校プールの一般開放について

学校の夏休みなどの空いている時間に、学校プールを市民などに開放している自治体もあります。現在、市では学校プールの一般開放を行っていませんが、仮に、学校が夏休みの期間中、既存の学校プールを開放した場合、利用しますか。(複数回答可)

【条件】 屋外プール、更衣室、トイレ、シャワーは学校の施設を使用
監視員が常駐
日中のみ開放

	選択内容	回答数	
利用/条件付きで利用	利用する	122	654
	施設が近くにあれば利用する	178	
	使用料が無料、もしくは安価であれば利用する	170	
	地域プールと同程度の設備(更衣室やトイレなど)であれば利用する	184	
非利用	利用しない	438	670
	地域プールなど、市の他のプールを利用するから、利用しない	140	
	民間のプールを利用するから、利用しない	92	
その他		57	
無回答		40	



【回答者数】1,013 【回答総数】1,421

「その他」の意見（主なもの）

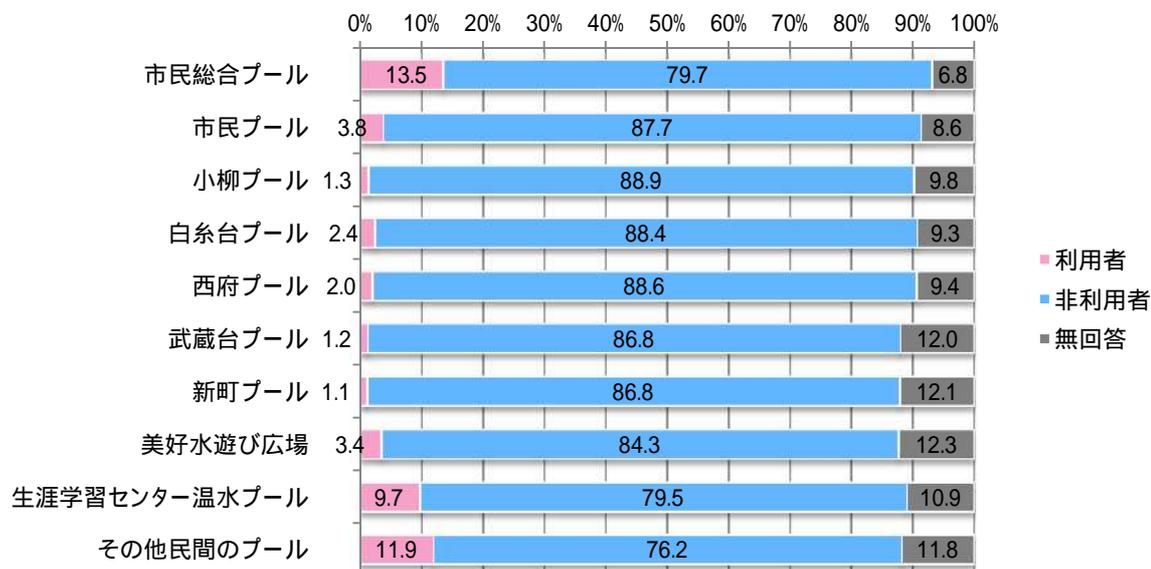
- 小さな子どもがいれば利用するが、今はいないため。
 - （高齢など）年齢の関係で利用しない。
 - 利用時間や水深など、条件が合わない。
 - セキュリティ、防犯体制に不安がある。（ロッカーなどの防犯設備が整っていれば、利用したい。）
-
- ・ 条件付きの場合を含め、「利用する」(654件)と、「利用しない」(670件)は、同程度の回答です。
 - ・ 場所の利便性、使用料、設備内容といった条件による利用の可能性については、それぞれ同程度の回答です。

(3) プールの利用状況等について

今年の夏（7月18日から8月31日までの間）にプールを何回利用しましたか。
 利用した場合は、該当する利用回数を、利用しなかった場合は、その理由を1つ選んでください。

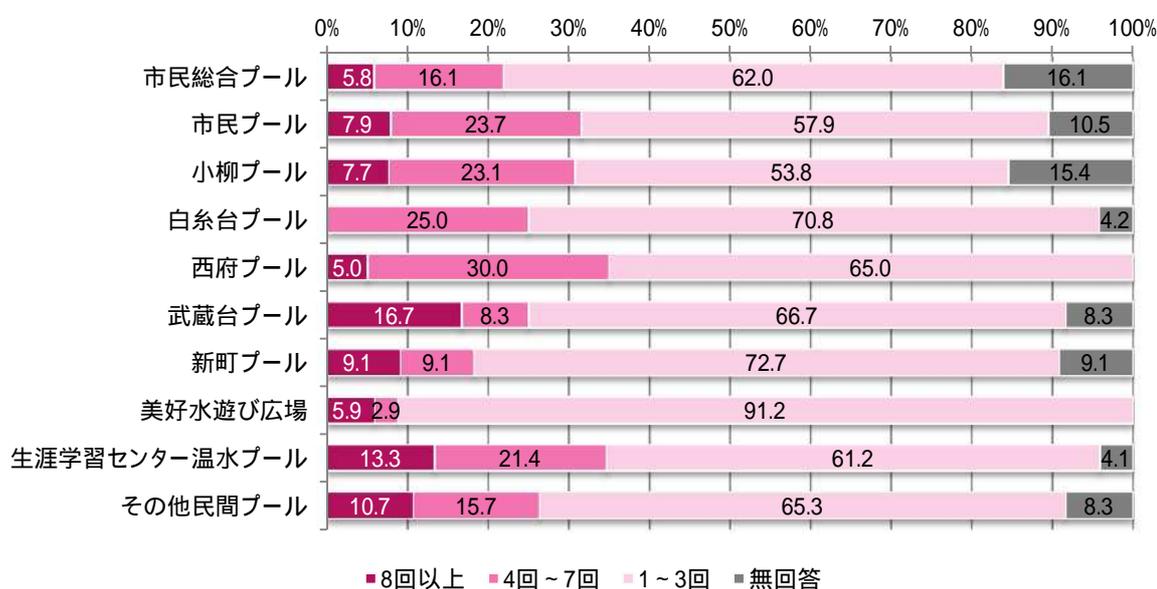
【利用者与非利用者】

施設名	利用者数 (割合)	非利用者数 (割合)	無回答 (割合)
市民総合プール(郷土の森総合プール)	137 (13.5%)	807 (79.7%)	69 (6.8%)
市民プール	38 (3.8%)	888 (87.7%)	87 (8.6%)
小柳プール	13 (1.3%)	901 (88.9%)	99 (9.8%)
白糸台プール	24 (2.4%)	895 (88.4%)	94 (9.3%)
西府プール	20 (2.0%)	898 (88.6%)	95 (9.4%)
武蔵台プール	12 (1.2%)	879 (86.8%)	122 (12.0%)
新町プール	11 (1.1%)	879 (86.8%)	123 (12.1%)
美好水遊び広場	34 (3.4%)	854 (84.3%)	125 (12.3%)
生涯学習センター温水プール	98 (9.7%)	805 (79.5%)	110 (10.9%)
その他民間のプール(市外含む)	121 (11.9%)	772 (76.2%)	120 (11.8%)



【利用者の利用回数】

施設名	利用者数	利用回数			
		8回以上	4～7回	1～3回	無回答
市民総合プール(郷土の森総合プール)	137	8 (5.8%)	22 (16.1%)	85 (62.0%)	22 (16.1%)
市民プール	38	3 (7.9%)	9 (23.7%)	22 (57.9%)	4 (10.5%)
小柳プール	13	1 (7.7%)	3 (23.1%)	7 (53.8%)	2 (15.4%)
白糸台プール	24	0 (0.0%)	6 (25.0%)	17 (70.8%)	1 (4.2%)
西府プール	20	1 (5.0%)	6 (30.0%)	13 (65.0%)	0 (0.0%)
武蔵台プール	12	2 (16.7%)	1 (8.3%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)
新町プール	11	1 (9.1%)	1 (9.1%)	8 (72.7%)	1 (9.1%)
美好水遊び広場	34	2 (5.9%)	1 (2.9%)	31 (91.2%)	0 (0.0%)
生涯学習センター温水プール	98	13 (13.3%)	21 (21.4%)	60 (61.2%)	4 (4.1%)
その他民間プール(市外含む)	121	13 (10.7%)	19 (15.7%)	79 (65.3%)	10 (8.3%)



- ・ いずれのプールでも「1～3回」の利用者が、半数以上を占めています。
- ・ 利用回数については、プールによる大きな差は見られません。

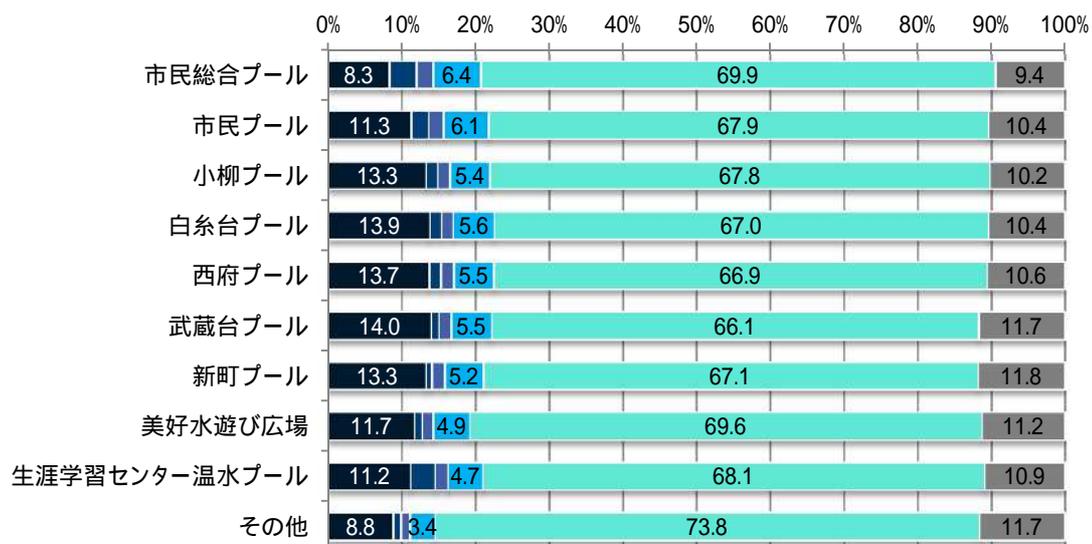
【参考 非利用者も含めた利用回数の比較】

施設名	利用者				非利用者	無回答
	利用回数 8回以上	利用回数 4～7回	利用回数 1～3回	利用回数 不明	利用回数 0回	
市民総合プール (郷土の森総合プール)	8 (0.8%)	22 (2.2%)	85 (8.4%)	22 (2.2%)	807 (79.7%)	69 (6.8%)
市民プール	3 (0.3%)	9 (0.9%)	22 (2.2%)	4 (0.4%)	888 (87.7%)	87 (8.6%)
小柳プール	1 (0.1%)	3 (0.3%)	7 (0.7%)	2 (0.2%)	901 (88.9%)	99 (9.8%)
白糸台プール	0 (0.0%)	6 (0.6%)	17 (1.7%)	1 (0.1%)	895 (88.4%)	94 (9.3%)
西府プール	1 (0.1%)	6 (0.6%)	13 (1.3%)	0 (0.0%)	898 (88.6%)	95 (9.4%)
武蔵台プール	2 (0.2%)	1 (0.1%)	8 (0.8%)	1 (0.1%)	879 (86.8%)	122 (12.0%)
新町プール	1 (0.1%)	1 (0.1%)	8 (0.8%)	1 (0.1%)	879 (86.8%)	123 (12.1%)
美好水遊び広場	2 (0.2%)	1 (0.1%)	31 (3.1%)	0 (0.0%)	854 (84.3%)	125 (12.3%)
生涯学習センター 温水プール	13 (1.3%)	21 (2.1%)	60 (5.9%)	4 (0.4%)	805 (79.5%)	110 (10.9%)
その他民間プール (市外含む)	13 (1.3%)	19 (1.9%)	79 (7.8%)	10 (1.0%)	772 (76.2%)	120 (11.8%)

【利用しなかった理由】

ア	施設の存在やサービス内容を知らない
イ	建物、サービス、利用時間、使用料などに不満がある
ウ	他の地区、国や都の施設を利用している
エ	類似の民間施設を利用している
オ	利用する必要がない

施設名	非利用者数	利用しなかった理由					無回答
		ア	イ	ウ	エ	オ	
市民総合プール (郷土の森総合プール)	807	67 (8.3%)	30 (3.7%)	18 (2.2%)	52 (6.4%)	564 (69.9%)	76 (9.4%)
市民プール	888	100 (11.3%)	21 (2.4%)	18 (2.0%)	54 (6.1%)	603 (67.9%)	92 (10.4%)
小柳プール	901	120 (13.3%)	14 (1.6%)	15 (1.7%)	49 (5.4%)	611 (67.8%)	92 (10.2%)
白糸台プール	895	124 (13.9%)	14 (1.6%)	14 (1.6%)	50 (5.6%)	600 (67.0%)	93 (10.4%)
西府プール	898	123 (13.7%)	14 (1.6%)	16 (1.8%)	49 (5.5%)	601 (66.9%)	95 (10.6%)
武蔵台プール	879	123 (14.0%)	9 (1.0%)	15 (1.7%)	48 (5.5%)	581 (66.1%)	103 (11.7%)
新町プール	879	117 (13.3%)	7 (0.8%)	15 (1.7%)	46 (5.2%)	590 (67.1%)	104 (11.8%)
美好水遊び広場	854	100 (11.7%)	9 (1.1%)	13 (1.5%)	42 (4.9%)	594 (69.6%)	96 (11.2%)
生涯学習センター 温水プール	805	90 (11.2%)	27 (3.4%)	14 (1.7%)	38 (4.7%)	548 (68.1%)	88 (10.9%)
その他民間プール (市外含む)	772	68 (8.8%)	8 (1.0%)	10 (1.3%)	26 (3.4%)	570 (73.8%)	90 (11.7%)



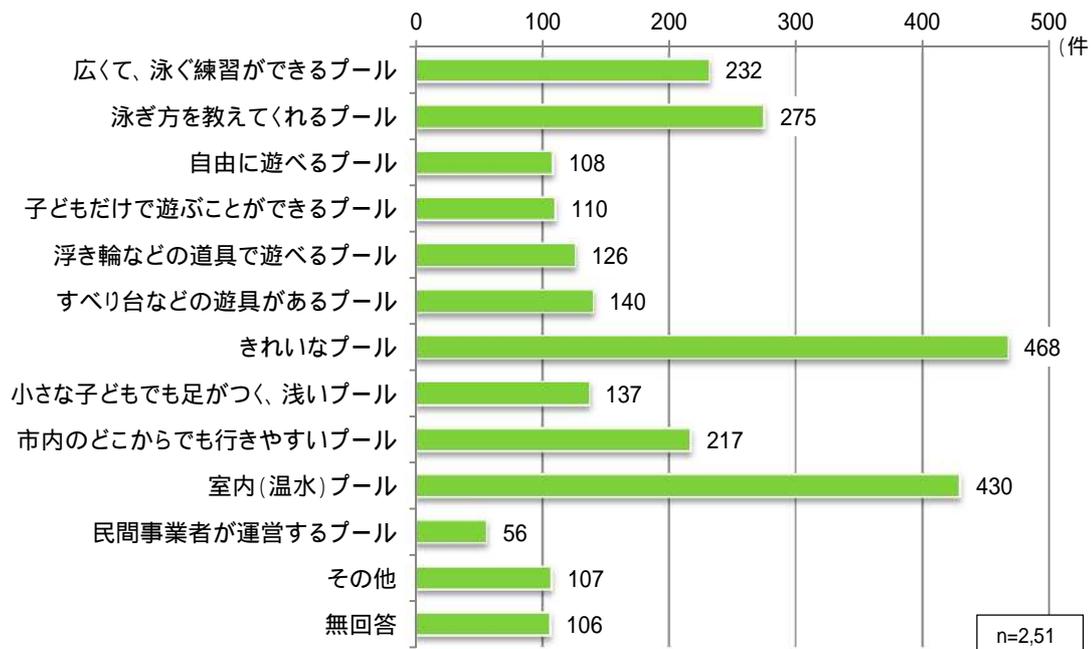
- 施設の存在やサービス内容を知らない
- 建物、サービス利用時間使料などに不満がある
- 他市区、国や都施設を利用している
- 類似の民間施設を利用している
- 利用する必要がない
- 無回答

- ・ 利用しなかった理由は、「利用する必要がない」が半数以上を占めますが、次いで、「施設の存在やサービス内容を知らない」が、全てのプールで一定程度みられます。

プールの利用者数は、ピーク時に比べて減少しています。
 今後、市が整備するプールの利用者を増やすために、安全性に加え、必要と考える要素を選択してください。(3つまで選択可)

選択内容	回答数	割合
広くて、泳ぐ練習ができるプール	232	22.9%
泳ぎ方を教えてくれるプール	275	27.1%
自由に遊べるプール	108	10.7%
子どもだけで遊ぶことができるプール	110	10.9%
浮き輪などの道具で遊べるプール	126	12.4%
すべり台などの遊具があるプール	140	13.8%
きれいなプール	468	46.2%
小さな子どもでも足がつく、浅いプール	137	13.5%
市内のどこからでも行きやすいプール	217	21.4%
室内(温水)プール	430	42.4%
民間事業者が運営するプール	56	5.5%
その他	107	10.6%
無回答	106	10.5%

【回答者数】1,013 【回答総数】2,512



「その他」の意見（主なもの）

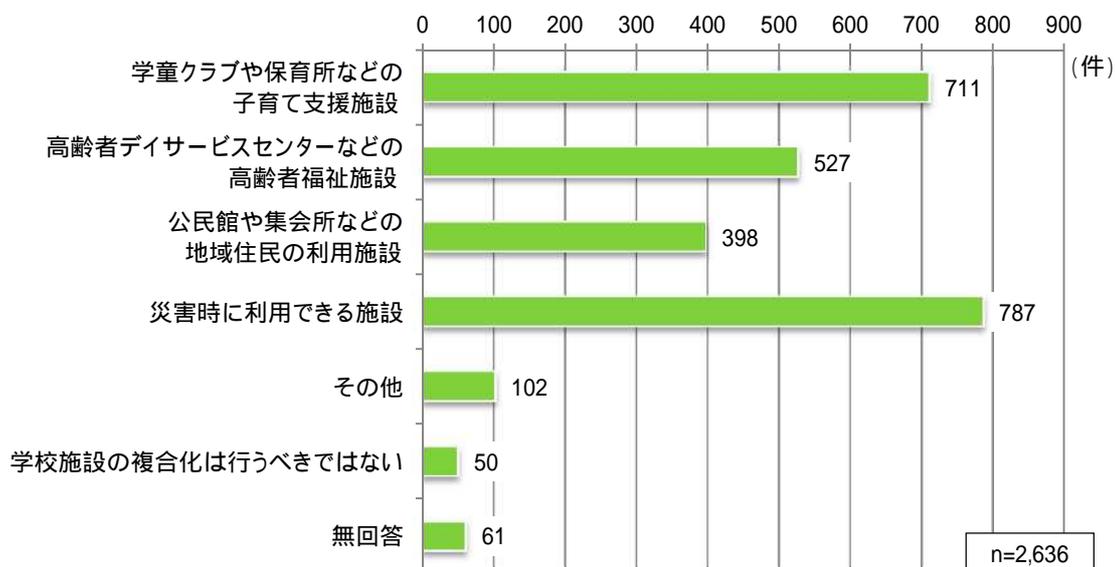
- 健康増進の指導などがあるプール
 - レベル別にレーンが分かれており、ウォーキングも可能なプール
 - 子どもがいない、大人だけで利用できるプール
 - おむつの取れていない子でも利用できるプール
 - 駐車場があるプール
-
- ・ 「きれいなプール」と「室内（温水）プール」を、必要な要素と回答した人が多くなっています。
 - ・ アンケート対象者が20歳以上の市民ということで、「浮き輪などの道具で遊べるプール」や「すべり台などの遊具があるプール」といった子どもが求める要素を選択した人は、あまり多くありません。

(4) 学校施設の複合化について

学校施設の複合化について検討する場合、あなたはどのような施設と複合化することが効果的だと思いますか。(複数回答可)

選択内容	回答数	割合
学童クラブや保育所などの子育て支援施設	711	70.2%
高齢者デイサービスセンターなど的高齢者福祉施設	527	52.0%
公民館や集会所などの地域住民の利用施設	398	39.3%
災害時に利用できる施設	787	77.7%
その他	102	10.1%
学校施設の複合化は行うべきではない	50	4.9%
無回答	61	6.0%

【回答者数】1,013 【回答総数】2,636



「その他」の施設として挙げたもの

施設名	回答数
図書館	19
スポーツ施設(プール、体育館の共有含む)	16
医療施設	12
ホールや会議室などの公共施設	12
カルチャーセンター(大人向け)	11
市の出張所	9
カフェ・レストラン	6
障害者福祉施設	6
学習塾や習い事の施設	5
コンビニ、スーパー	4
オフィス、会議室など企業向け施設	3
高齢者が集う憩いの場	2

「学校の複合化を行うべきではない」の理由(主なもの)

- 子どもたちが勉強に集中できなくなる恐れがある。
 - 安全上、学校は極力人の出入りを控えるべきである。
 - 多機能にして良いことはない。教育施設は独立してあるべきである。
 - 狭い道路での車両の頻繁な出入りによる接触が心配される。
-
- ・ 最も多い回答は、「災害時に利用できる施設」で、これは学校の体育館が一次避難所として利用できることも含まれています。
 - ・ 学校施設と複合化する施設として、「子育て支援施設」という回答も多くなっています。これは、近年の市民ニーズや、利用者が児童生徒と重なる、もしくは近いということが考えられます。
 - ・ 今後ますますニーズが高まる高齢者福祉の分野についても、学校施設の活用策の1つとして考えられます。

(5) 学校の複合化に当たって必要なこと

学校施設の複合化に当たって必要と考えることをご記入ください。(自由記述)

主な意見	回答数
学校機能(教育環境)を確保することについて (セキュリティの強化や学習環境の確保について等)	282
その他配慮すべき点について (バリアフリーや使いやすさについて等)	59
学校と複合化する機能について (複合化に適している施設、適していない施設等の意見)	214
複合化することで期待する効果について (世代間交流、地域のコミュニケーションが深まる等)	166
複合化について (複合化への賛成意見、反対意見等)	95
その他	21

【回答者数】573 【意見の件数】837

主な意見

- 児童生徒の利用するエリアには、部外者が立ち入らない等、安全確保が必要である。
- 子どもの安全が最優先である。最近子どもが巻き込まれる事件も多い。
- 衛生的である必要がある。
- 高齢者が増えるので、遊びに行けるような催しがあると良い。交流の場、地域づくりの拠点となる必要がある。
- 何かあった時に助け合える機能があると良い。災害時には避難所としての場所の提供が必要である。
- 企業の色々なアイデアを活用することも必要である。

資料5 プールの利用に関する児童生徒アンケートの結果の結果（概要）

調査の概要

1 目的

モデル事業2「学校施設の更なる活用」の検討テーマの1つである学校プール及び地域プールについて、利用者の中心である市立小中学校の児童生徒から、利用状況や利用希望などの意見を集めるため、アンケート調査を実施しました。

2 対象者及び実施方法

(1) 対象者

市立小中学校の児童生徒（総合プール及び地域プールの配置を踏まえて選出した、小学校8校、中学校4校の児童生徒

(2) 実施方法

学校を經由して、配付及び回収

3 配付者数及び回答者数

配付者数	7,226 人
回答者数	5,571 人
回答率	77.0%

4 内容

プールの利用状況や利用希望など

5 期間

平成27年9月15日～平成27年9月30日

調査結果

次のページより、各設問に対する回答の集計結果を掲載します。

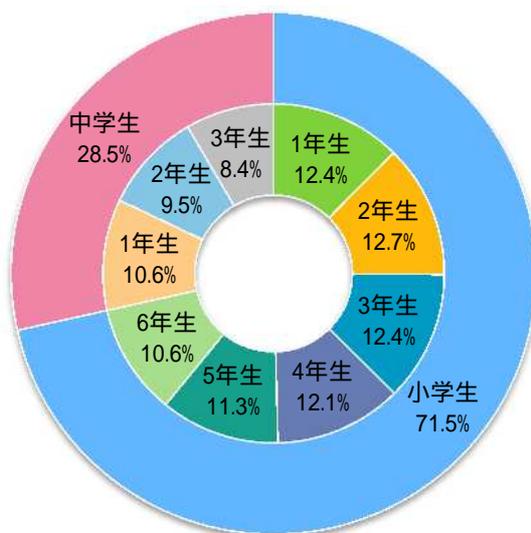
なお、集計結果から作成したグラフと表中の割合（％）は、端数処理の関係で必ずしも合致しない、または100％とならない場合があります。

・回答者の属性

小学校（または中学校）何年生ですか。

	小学校						小学生 合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
回答者数	693	706	691	673	629	592	3,984
	12.4%	12.7%	12.4%	12.1%	11.3%	10.6%	71.5%

	中学校			中学生 合計
	1年生	2年生	3年生	
回答者数	593	527	467	1,587
	10.6%	9.5%	8.4%	28.5%



夏休み中のプール利用の有無

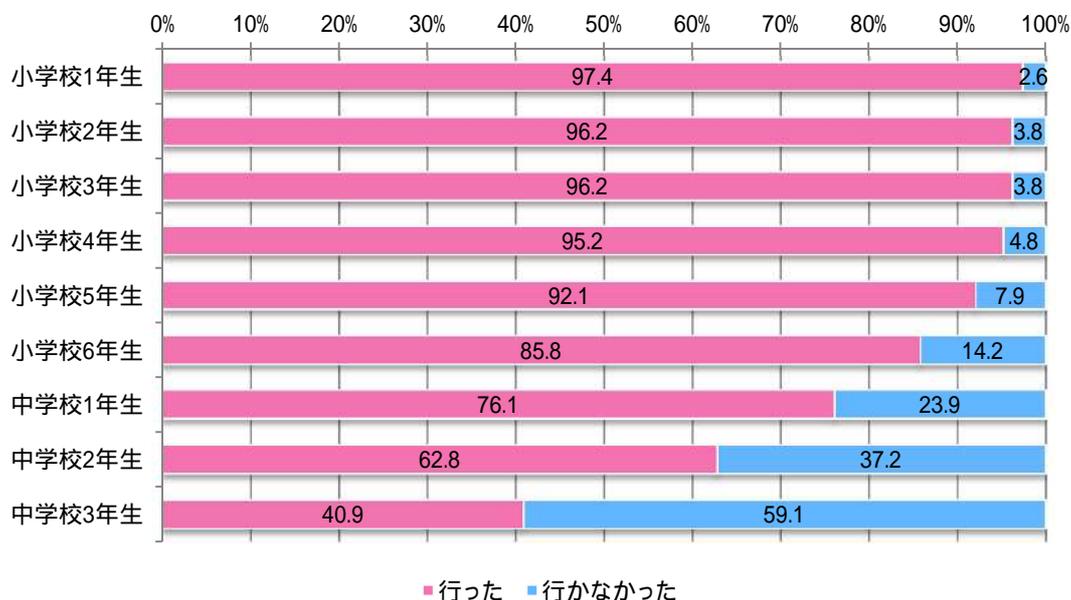
今年の夏休み中、プールに行きましたか。

	行った (割合)	行かなかった (割合)
小学校1年生	675 (97.4%)	18 (2.6%)
小学校2年生	679 (96.2%)	27 (3.8%)
小学校3年生	665 (96.2%)	26 (3.8%)
小学校4年生	641 (95.2%)	32 (4.8%)
小学校5年生	579 (92.1%)	50 (7.9%)
小学校6年生	508 (85.8%)	84 (14.2%)
小学生合計	3,747 (94.1%)	237 (5.9%)

	行った (割合)	行かなかった (割合)
中学校1年生	451 (76.1%)	142 (23.9%)
中学校2年生	331 (62.8%)	196 (37.2%)
中学校3年生	191 (40.9%)	276 (59.1%)
中学生合計	973 (61.3%)	614 (38.7%)

	行った (割合)	行かなかった (割合)
小中学生合計	4,720 (84.7%)	851 (15.3%)

【回答者数】5,571



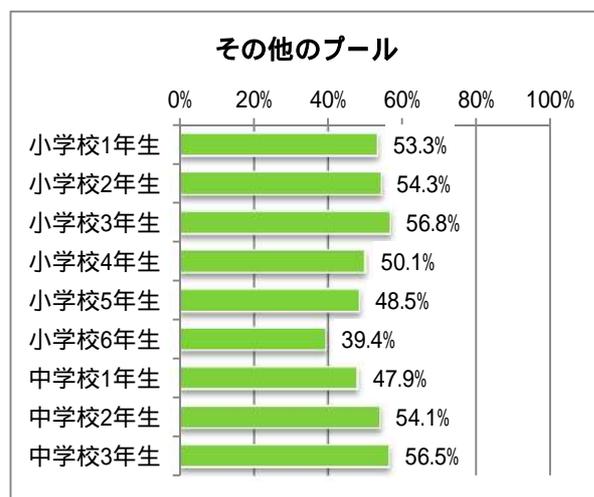
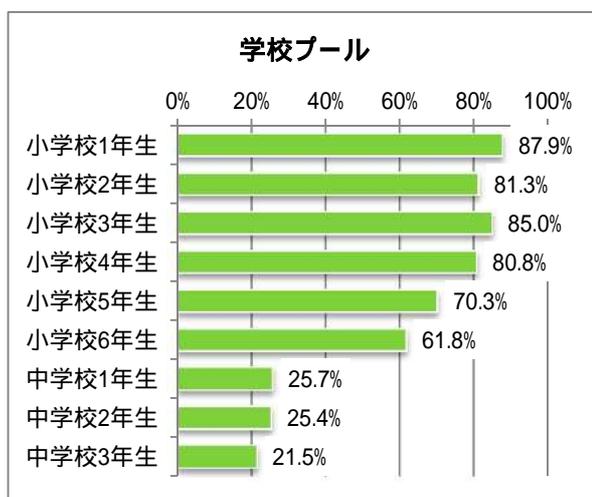
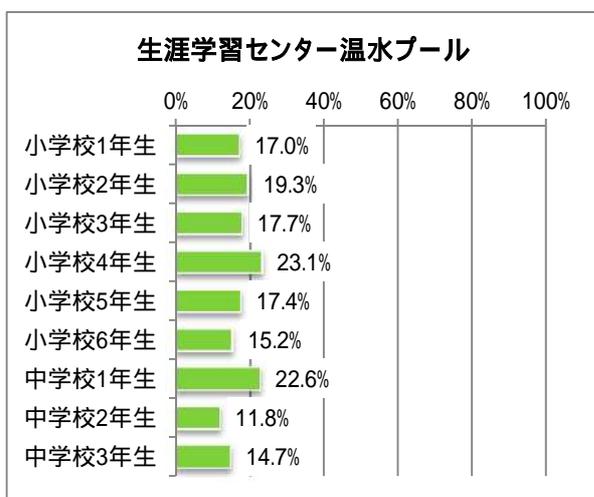
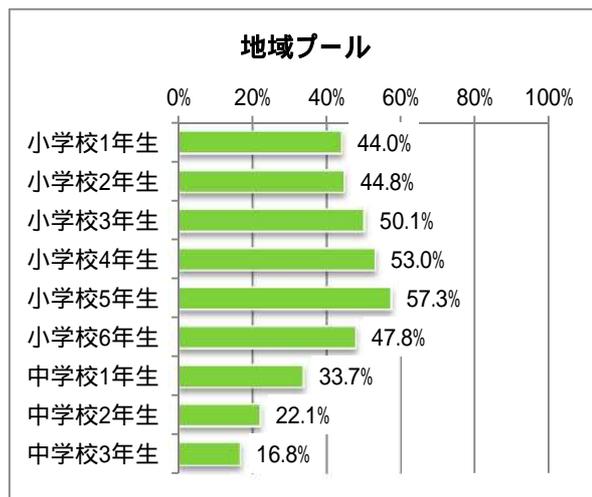
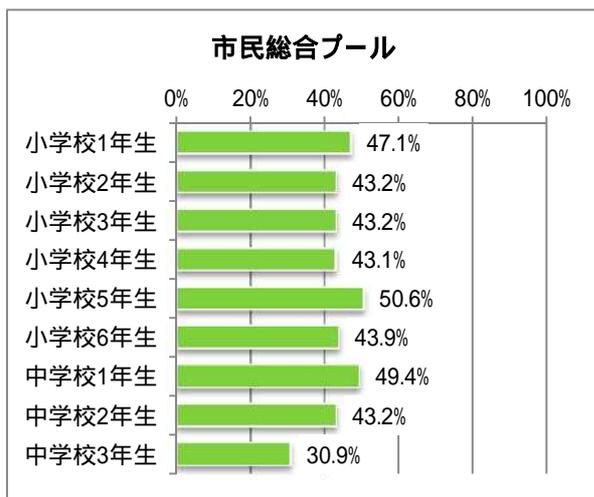
- 小学生から中学生へと、学年が上がるにつれて、プール利用者の割合は減少します。

- 1 利用したプール施設について

どこのプールに行きましたか。(行ったプールすべてに)

	市民総合プール (郷土森総合 プール)	地域プール	生涯学習 センター 温水プール	学校プール (水泳指導 など)	その他の プール	無回答
小学校 1年生	318 (47.1%)	297 (44.0%)	115 (17.0%)	593 (87.9%)	360 (53.3%)	1 (0.1%)
小学校 2年生	293 (43.2%)	304 (44.8%)	131 (19.3%)	552 (81.3%)	369 (54.3%)	0 (0.0%)
小学校 3年生	287 (43.2%)	333 (50.1%)	118 (17.7%)	565 (85.0%)	378 (56.8%)	0 (0.0%)
小学校 4年生	276 (43.1%)	340 (53.0%)	148 (23.1%)	518 (80.8%)	321 (50.1%)	0 (0.0%)
小学校 5年生	293 (50.6%)	332 (57.3%)	101 (17.4%)	407 (70.3%)	281 (48.5%)	1 (0.2%)
小学校 6年生	223 (43.9%)	243 (47.8%)	77 (15.2%)	314 (61.8%)	200 (39.4%)	2 (0.4%)
小学生 合計	1,690 (45.1%)	1,849 (49.3%)	690 (18.4%)	2,949 (78.7%)	1,909 (50.9%)	4 (0.1%)
中学校 1年生	223 (49.4%)	152 (33.7%)	102 (22.6%)	116 (25.7%)	216 (47.9%)	0 (0.0%)
中学校 2年生	143 (43.2%)	73 (22.1%)	39 (11.8%)	84 (25.4%)	179 (54.1%)	0 (0.0%)
中学校 3年生	59 (30.9%)	32 (16.8%)	28 (14.7%)	41 (21.5%)	108 (56.5%)	0 (0.0%)
中学生 合計	425 (43.7%)	257 (26.4%)	169 (17.4%)	241 (24.8%)	503 (51.7%)	0 (0.0%)
小中学生 合計	2,115 (44.8%)	2,106 (44.6%)	859 (18.2%)	3,190 (67.6%)	2,412 (51.1%)	4 (0.1%)

【回答者数】4,720 【総回答数】10,686 複数回答のため、割合の総和は100%を超えます。



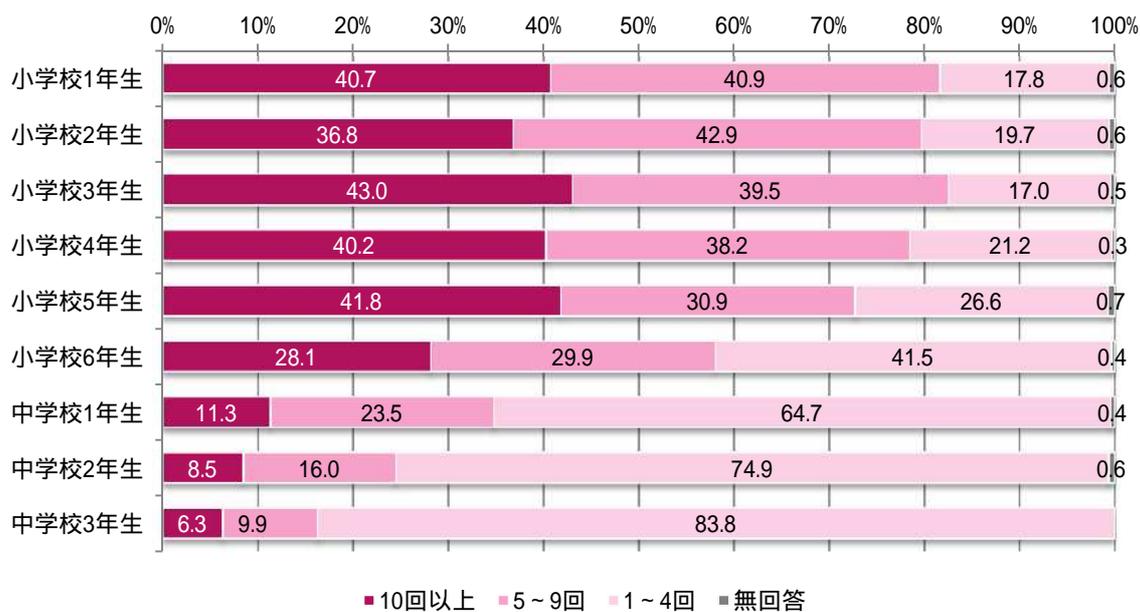
- ・ 地域プールと学校プールについては、中学生になると、利用する割合が低くなります。
- ・ プール利用者の約半数は、公共プール以外のプール（民間プール）を利用しています。
- ・ 小学生は、学校プールを中心に、総合プールや地域プール、その他のプールを利用している様子がみられます。一方、中学生は、総合プールやその他のプールを中心に利用している様子がみられます。

- 2 プールの利用した回数について

全部で何回プールに行きましたか。(は 1 つ)

	利用者数	10 回以上	5～9 回	1～4 回	無回答
小学校 1 年生	675	275 (40.7%)	276 (40.9%)	120 (17.8%)	4 (0.6%)
小学校 2 年生	679	250 (36.8%)	291 (42.9%)	134 (19.7%)	4 (0.6%)
小学校 3 年生	665	286 (43.0%)	263 (39.5%)	113 (17.0%)	3 (0.5%)
小学校 4 年生	641	258 (40.2%)	245 (38.2%)	136 (21.2%)	2 (0.3%)
小学校 5 年生	579	242 (41.8%)	179 (30.9%)	154 (26.6%)	4 (0.7%)
小学校 6 年生	508	143 (28.1%)	152 (29.9%)	211 (41.5%)	2 (0.4%)
小学生合計	3,747	1,454 (38.8%)	1,406 (37.5%)	868 (23.2%)	19 (0.5%)
中学校 1 年生	451	51 (11.3%)	106 (23.5%)	292 (64.7%)	2 (0.4%)
中学校 2 年生	331	28 (8.5%)	53 (16.0%)	248 (74.9%)	2 (0.6%)
中学校 3 年生	191	12 (6.3%)	19 (9.9%)	160 (83.8%)	0 (0.0%)
中学生合計	973	91 (9.4%)	178 (18.3%)	700 (71.9%)	4 (0.4%)
小中学生合計	4,720	1,545 (32.7%)	1,584 (33.6%)	1,568 (33.2%)	23 (0.5%)

【回答者数】4,720

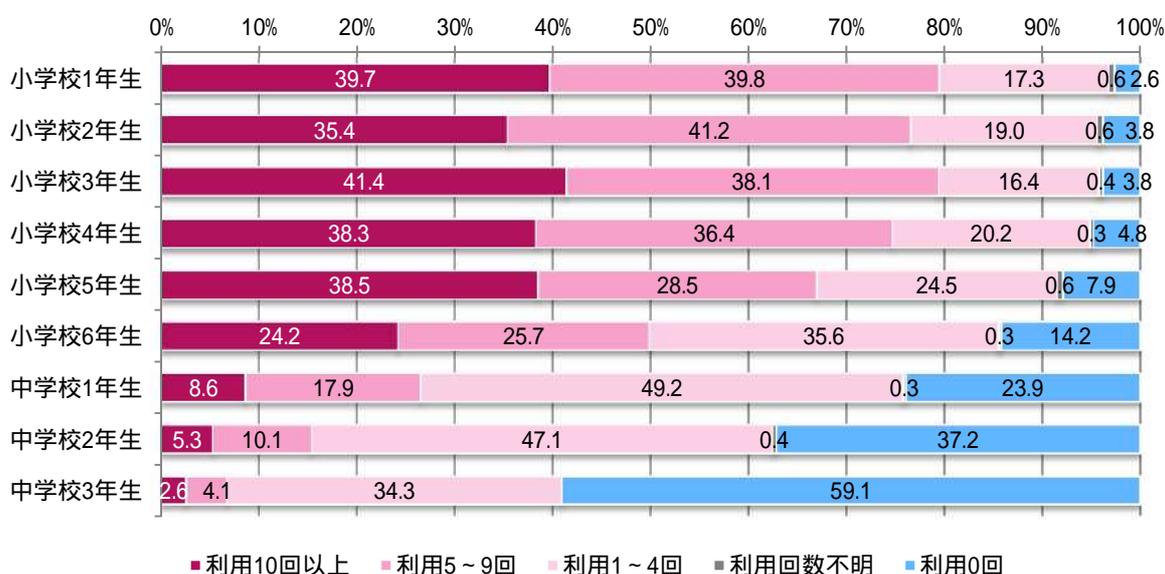


- 小学生は、5回以上の利用者が約80%です。一方で、中学生は、非利用者と5回未満の利用者を合わせて約80%となっています。この要因の1つとして、学校プールの利用回数の違いが挙げられます。

【参考 非利用者も含めた利用回数の比較】

	利用者				非利用者
	利用 10 回以上	利用 5～9 回	利用 1～4 回	利用回数不明	利用 0 回
小学校 1 年生	275 (39.7%)	276 (39.8%)	120 (17.3%)	4 (0.6%)	18 (2.6%)
小学校 2 年生	250 (35.4%)	291 (41.2%)	134 (19.0%)	4 (0.6%)	27 (3.8%)
小学校 3 年生	286 (41.4%)	263 (38.1%)	113 (16.4%)	3 (0.4%)	26 (3.8%)
小学校 4 年生	258 (38.3%)	245 (36.4%)	136 (20.2%)	2 (0.3%)	32 (4.8%)
小学校 5 年生	242 (38.5%)	179 (28.5%)	154 (24.5%)	4 (0.6%)	50 (7.9%)
小学校 6 年生	143 (24.2%)	152 (25.7%)	211 (35.6%)	2 (0.3%)	84 (14.2%)
小学生合計	1,454 (36.5%)	1,406 (35.3%)	868 (21.8%)	19 (0.5%)	237 (5.9%)
中学校 1 年生	51 (8.6%)	106 (17.9%)	292 (49.2%)	2 (0.3%)	142 (23.9%)
中学校 2 年生	28 (5.3%)	53 (10.1%)	248 (47.1%)	2 (0.4%)	196 (37.2%)
中学校 3 年生	12 (2.6%)	19 (4.1%)	160 (34.3%)	0 (0.0%)	276 (59.1%)
中学生合計	91 (5.7%)	178 (11.2%)	700 (44.1%)	4 (0.3%)	614 (38.7%)
小中学生合計	1,545 (27.7%)	1,584 (28.4%)	1,568 (28.1%)	23 (0.4%)	851 (15.3%)

【回答者数】5,571



- 3 プールを利用した理由

なぜ、行きましたか。(は2つまで)

	利用者数	楽しいから	暑いから	友達と遊べるから	泳ぐ練習をしたいから	家から近いから	他に遊ぶところがないから	家で行くように言われたから	行かなくてはならなかったから	無回答
小学校1年生	675	482 (71.4%)	249 (36.9%)	118 (17.5%)	273 (40.4%)	75 (11.1%)	17 (2.5%)	51 (7.6%)	24 (3.6%)	2 (0.3%)
小学校2年生	679	475 (70.0%)	252 (37.1%)	134 (19.7%)	263 (38.7%)	70 (10.3%)	19 (2.8%)	53 (7.8%)	23 (3.4%)	0 (0.0%)
小学校3年生	665	457 (68.7%)	215 (32.3%)	200 (30.1%)	248 (37.3%)	67 (10.1%)	14 (2.1%)	49 (7.4%)	24 (3.6%)	1 (0.2%)
小学校4年生	641	414 (64.6%)	205 (32.0%)	243 (37.9%)	231 (36.0%)	55 (8.6%)	12 (1.9%)	40 (6.2%)	17 (2.7%)	1 (0.2%)
小学校5年生	579	357 (61.7%)	196 (33.9%)	273 (47.2%)	149 (25.7%)	56 (9.7%)	22 (3.8%)	43 (7.4%)	15 (2.6%)	3 (0.5%)
小学校6年生	508	287 (56.5%)	150 (29.5%)	248 (48.8%)	115 (22.6%)	47 (9.3%)	17 (3.3%)	56 (11.0%)	13 (2.6%)	1 (0.2%)
小学生合計	3,747	2,472 (66.0%)	1,267 (33.8%)	1,216 (32.5%)	1,279 (34.1%)	370 (9.9%)	101 (2.7%)	292 (7.8%)	116 (3.1%)	8 (0.2%)
中学校1年生	451	266 (59.0%)	141 (31.3%)	237 (52.5%)	97 (21.5%)	20 (4.4%)	12 (2.7%)	19 (4.2%)	38 (8.4%)	1 (0.2%)
中学校2年生	331	183 (55.3%)	114 (34.4%)	154 (46.5%)	62 (18.7%)	13 (3.9%)	11 (3.3%)	9 (2.7%)	32 (9.7%)	1 (0.3%)
中学校3年生	191	108 (56.5%)	39 (20.4%)	91 (47.6%)	35 (18.3%)	2 (1.0%)	7 (3.7%)	4 (2.1%)	31 (16.2%)	0 (0.0%)
中学生合計	973	557 (57.2%)	294 (30.2%)	482 (49.5%)	194 (19.9%)	35 (3.6%)	30 (3.1%)	32 (3.3%)	101 (10.4%)	2 (0.2%)
小中学生合計	451	3,029 (64.2%)	1,561 (33.1%)	1,698 (36.0%)	1,473 (31.2%)	405 (8.6%)	131 (2.8%)	324 (6.9%)	217 (4.6%)	10 (0.2%)

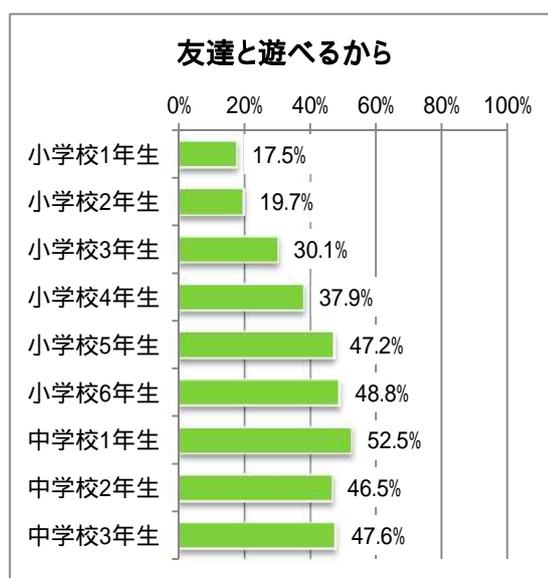
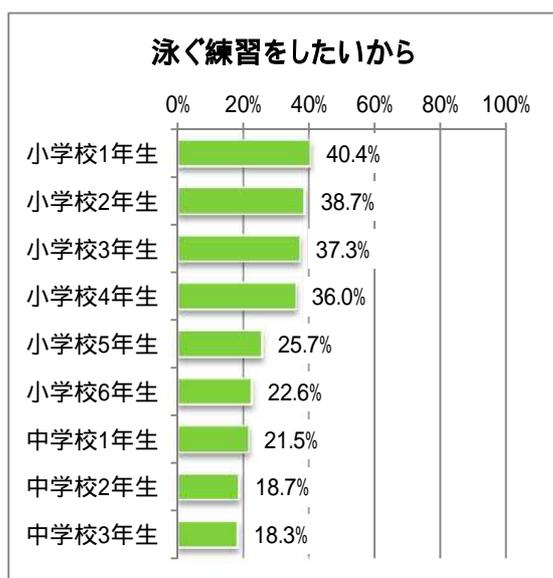
【回答者数】4,720 【総回答数】8,848 複数回答のため、割合の総和は100%を超えます。

- ・ 小中学生ともに、プールを利用する最たる理由は「楽しいから」と回答しています。次いで、小学校低学年は、「泳ぐ練習ができる」場所としての利用、小学校高学年及び中学生は、「友達と遊べる」場所としての利用が多いことが見て取れます

【プールを利用した理由として多い回答】

	1位	2位	3位	4位	5位
小学校1年生	楽しいから	泳ぐ練習をしたいから	暑いから	友達と遊べるから	家から近いから
小学校2年生	楽しいから	泳ぐ練習をしたいから	暑いから	友達と遊べるから	家から近いから
小学校3年生	楽しいから	泳ぐ練習をしたいから	暑いから	友達と遊べるから	家から近いから
小学校4年生	楽しいから	友達と遊べるから	泳ぐ練習をしたいから	暑いから	家から近いから
小学校5年生	楽しいから	友達と遊べるから	暑いから	泳ぐ練習をしたいから	家から近いから
小学校6年生	楽しいから	友達と遊べるから	暑いから	泳ぐ練習をしたいから	家で行くように言われたから

中学校1年生	楽しいから	友達と遊べるから	暑いから	泳ぐ練習をしたいから	行かなくてはならなかったから
中学校2年生	楽しいから	友達と遊べるから	暑いから	泳ぐ練習をしたいから	行かなくてはならなかったから
中学校3年生	楽しいから	友達と遊べるから	暑いから	泳ぐ練習をしたいから	行かなくてはならなかったから



プールを利用しなかった理由

なぜ、行きませんでしたか。(は2つまで)

	非利用者数	水に入りにく ないから	日焼けし にくいから	行く時間 がないから	家から遠 いから	汚いから	怪我など をして いたから	家で止 めら れている から	行きたく な かった から	無 回 答
小学校 1年生	18	2 (11.1%)	2 (11.1%)	10 (55.6%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)
小学校 2年生	27	1 (3.7%)	1 (3.7%)	15 (55.6%)	3 (11.1%)	1 (3.7%)	6 (22.2%)	0 (0.0%)	9 (33.3%)	0 (0.0%)
小学校 3年生	26	0 (0.0%)	1 (3.8%)	15 (57.7%)	2 (7.7%)	1 (3.8%)	8 (30.8%)	0 (0.0%)	4 (15.4%)	1 (3.8%)
小学校 4年生	32	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (56.3%)	6 (18.8%)	2 (6.3%)	3 (9.4%)	0 (0.0%)	12 (37.5%)	0 (0.0%)
小学校 5年生	50	4 (8.0%)	6 (12.0%)	33 (66.0%)	3 (6.0%)	3 (6.0%)	6 (12.0%)	0 (0.0%)	7 (14.0%)	0 (0.0%)
小学校 6年生	84	1 (1.2%)	7 (8.3%)	56 (66.7%)	5 (6.0%)	6 (7.1%)	5 (6.0%)	1 (1.2%)	27 (32.1%)	2 (2.4%)
小学生 合計	237	8 (3.4%)	17 (7.2%)	147 (62.0%)	21 (8.9%)	15 (6.3%)	31 (13.1%)	1 (0.4%)	62 (26.2%)	4 (1.7%)
中学校 1年生	142	7 (4.9%)	9 (6.3%)	98 (69.0%)	15 (10.6%)	15 (10.6%)	8 (5.6%)	3 (2.1%)	42 (29.6%)	1 (0.7%)
中学校 2年生	196	14 (7.1%)	15 (7.7%)	129 (65.8%)	16 (8.2%)	20 (10.2%)	12 (6.1%)	2 (1.0%)	65 (33.2%)	7 (3.6%)
中学校 3年生	276	9 (3.3%)	25 (9.1%)	214 (77.5%)	14 (5.1%)	26 (9.4%)	7 (2.5%)	3 (1.1%)	67 (24.3%)	8 (2.9%)
中学生 合計	614	30 (4.9%)	49 (8.0%)	441 (71.8%)	45 (7.3%)	61 (9.9%)	27 (4.4%)	8 (1.3%)	174 (28.3%)	16 (2.6%)
小中学生 合計	851	38 (4.5%)	66 (7.8%)	588 (69.1%)	66 (7.8%)	76 (8.9%)	58 (6.8%)	9 (1.1%)	236 (27.7%)	20 (2.4%)

【回答者数】851 【総回答数】1,157 複数回答のため、割合の総和は100%を超えます。

- ・ 学年を問わず、「行く時間がない」ことが大きな理由となっています。また、次いで単に「行きたくない」、という意向を持つ人の割合が大きいことも見て取れます。

【プールを利用しなかった理由として多い回答】

	1位	2位	3位	4位	5位
小学校1年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	怪我などをしていたから	家から遠いから	水に入りたくないから
小学校2年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	怪我などをしていたから	家から遠いから	水に入りたくないから
小学校3年生	行く時間がないから	怪我などをしていたから	行きたくなかったから	家から遠いから	日焼けしたくないから
小学校4年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	家から遠いから	怪我などをしていたから	汚いから
小学校5年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	怪我などをしていたから	日焼けしたくないから	水に入りたくないから
小学校6年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	日焼けしたくないから	汚いから	怪我などをしていたから

中学校1年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	汚いから	家から遠いから	日焼けしたくないから
中学校2年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	汚いから	家から遠いから	日焼けしたくないから
中学校3年生	行く時間がないから	行きたくなかったから	汚いから	日焼けしたくないから	家から遠いから

学校プールの一般開放を行った場合の利用意向

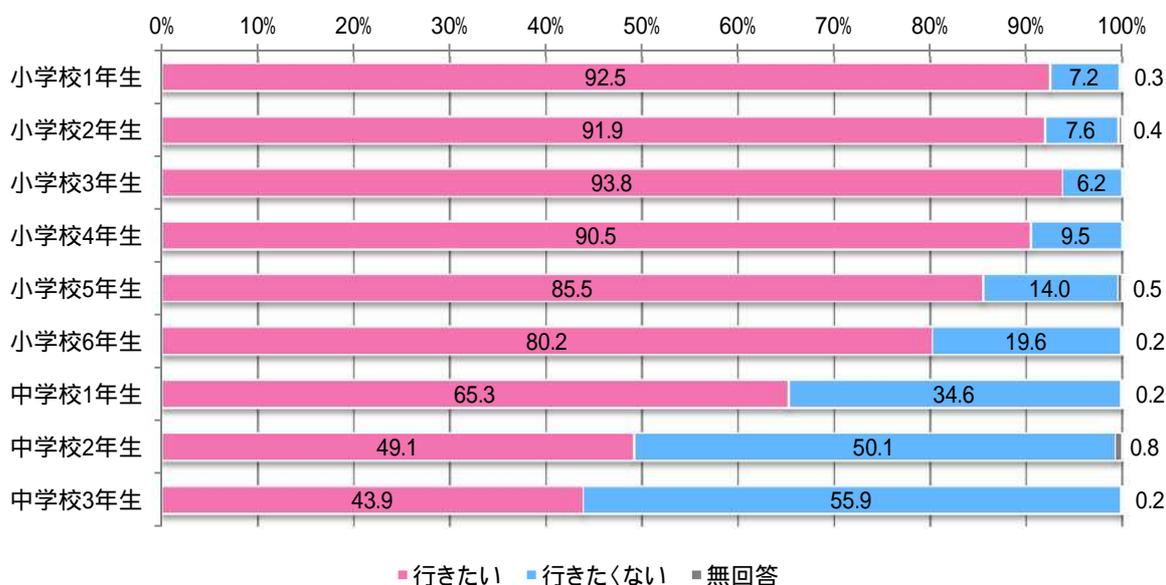
もし、夏休み中、学校のプールで自由に泳いだり、遊べる日があったら、行きたいですか。
(は1つ)

	行きたい (割合)	行きたくない (割合)	無回答 (割合)
小学校 1年生	641 (92.5%)	50 (7.2%)	2 (0.3%)
小学校 2年生	649 (91.9%)	54 (7.6%)	3 (0.4%)
小学校 3年生	648 (93.8%)	43 (6.2%)	0 (0.0%)
小学校 4年生	609 (90.5%)	64 (9.5%)	0 (0.0%)
小学校 5年生	538 (85.5%)	88 (14.0%)	3 (0.5%)
小学校 6年生	475 (80.2%)	116 (19.6%)	1 (0.2%)
小学生 合計	3,560 (89.4%)	415 (10.4%)	9 (0.2%)

	行きたい (割合)	行きたくない (割合)	無回答 (割合)
中学校 1年生	387 (65.3%)	205 (34.6%)	1 (0.2%)
中学校 2年生	259 (49.1%)	264 (50.1%)	4 (0.8%)
中学校 3年生	205 (43.9%)	261 (55.9%)	1 (0.2%)
中学生 合計	851 (53.6%)	730 (46.0%)	6 (0.4%)

	行きたい (割合)	行きたくない (割合)	無回答 (割合)
小中学生 合計	4,411 (79.2%)	1,145 (20.6%)	15 (0.3%)

【回答者数】5,571



- ・ 学校プールの一般開放に対して、学年が上がるにつれて「行きたくない」の割合が増えます。

学校プールの一般開放に行きたい理由

なぜ、行きたいですか。(は2つまで)

	泳ぎたいから	遊びたいから	近いから	学校のプールは泳ぎやすいから	友達と集まりやすいから	自分たちだけで行けるから	プールが好きだから	無回答
小学校 1年生	259 (40.4%)	329 (51.3%)	86 (13.4%)	47 (7.3%)	187 (29.2%)	91 (14.2%)	206 (32.1%)	2 (0.3%)
小学校 2年生	272 (41.9%)	340 (52.4%)	79 (12.2%)	49 (7.6%)	174 (26.8%)	87 (13.4%)	212 (32.7%)	0 (0.0%)
小学校 3年生	266 (41.0%)	341 (52.6%)	73 (11.3%)	48 (7.4%)	202 (31.2%)	81 (12.5%)	205 (31.6%)	1 (0.2%)
小学校 4年生	239 (39.2%)	327 (53.7%)	74 (12.2%)	28 (4.6%)	228 (37.4%)	84 (13.8%)	158 (25.9%)	0 (0.0%)
小学校 5年生	182 (33.8%)	299 (55.6%)	62 (11.5%)	27 (5.0%)	226 (42.0%)	87 (16.2%)	113 (21.0%)	0 (0.0%)
小学校 6年生	140 (29.5%)	296 (62.3%)	60 (12.6%)	21 (4.4%)	210 (44.2%)	60 (12.6%)	71 (14.9%)	0 (0.0%)
小学生 合計	1,358 (38.1%)	1,932 (54.3%)	434 (12.2%)	220 (6.2%)	1,227 (34.5%)	490 (13.8%)	965 (27.1%)	3 (0.1%)
中学校 1年生	160 (41.3%)	220 (56.8%)	42 (10.9%)	10 (2.6%)	135 (34.9%)	27 (7.0%)	81 (20.9%)	1 (0.3%)
中学校 2年生	114 (44.0%)	151 (58.3%)	28 (10.8%)	11 (4.2%)	89 (34.4%)	17 (6.6%)	46 (17.8%)	1 (0.4%)
中学校 3年生	81 (39.5%)	113 (55.1%)	23 (11.2%)	10 (4.9%)	62 (30.2%)	15 (7.3%)	38 (18.5%)	1 (0.5%)
中学生 合計	355 (41.7%)	484 (56.9%)	93 (10.9%)	31 (3.6%)	286 (33.6%)	59 (6.9%)	165 (19.4%)	3 (0.4%)
小中学生 合計	1,713 (38.8%)	2,416 (54.8%)	527 (11.9%)	251 (5.7%)	1,513 (34.3%)	549 (12.4%)	1,130 (25.6%)	6 (0.1%)

【回答者数】4,411 【総回答数】8,105 複数回答のため、割合の総和は100%を超えます。

- ・ 全体として、「泳ぎたいから」、「遊びたいから」という理由が多く挙げられています。

【学校プールの一般開放に行きたい理由として多い回答】

	1位	2位	3位	4位	5位
小学校1年生	遊びたいから	泳ぎたいから	プールが好きから	友達と集まりやすいから	自分たちだけで行けるから
小学校2年生	遊びたいから	泳ぎたいから	プールが好きから	友達と集まりやすいから	自分たちだけで行けるから
小学校3年生	遊びたいから	泳ぎたいから	プールが好きから	友達と集まりやすいから	自分たちだけで行けるから
小学校4年生	遊びたいから	泳ぎたいから	友達と集まりやすいから	プールが好きから	自分たちだけで行けるから
小学校5年生	遊びたいから	友達と集まりやすいから	泳ぎたいから	プールが好きから	自分たちだけで行けるから
小学校6年生	遊びたいから	友達と集まりやすいから	泳ぎたいから	プールが好きから	自分たちだけで行けるから

中学校1年生	遊びたいから	泳ぎたいから	友達と集まりやすいから	プールが好きから	近いから
中学校2年生	遊びたいから	泳ぎたいから	友達と集まりやすいから	プールが好きから	近いから
中学校3年生	遊びたいから	泳ぎたいから	友達と集まりやすいから	プールが好きから	近いから

学校プールの一般開放に行きたくない理由

なぜ、行きたくないですか。(は2つまで)

	泳ぎたくないから	汚いから	狭いから	遊具がないから	知っている人から	夏休み中に学校に行きたくないから	プールが嫌いだから	無回答
小学校 1年生	8 (16.0%)	9 (18.0%)	9 (18.0%)	21 (42.0%)	1 (2.0%)	12 (24.0%)	8 (16.0%)	5 (10.0%)
小学校 2年生	4 (7.4%)	24 (44.4%)	7 (13.0%)	19 (35.2%)	1 (1.9%)	13 (24.1%)	5 (9.3%)	2 (3.7%)
小学校 3年生	2 (4.7%)	16 (37.2%)	6 (14.0%)	14 (32.6%)	2 (4.7%)	17 (39.5%)	5 (11.6%)	0 (0.0%)
小学校 4年生	10 (15.6%)	26 (40.6%)	15 (23.4%)	16 (25.0%)	3 (4.7%)	20 (31.3%)	6 (9.4%)	1 (1.6%)
小学校 5年生	6 (6.8%)	29 (33.0%)	28 (31.8%)	23 (26.1%)	4 (4.5%)	27 (30.7%)	9 (10.2%)	2 (2.3%)
小学校 6年生	17 (14.7%)	39 (33.6%)	30 (25.9%)	27 (23.3%)	8 (6.9%)	35 (30.2%)	27 (23.3%)	2 (1.7%)
小学生 合計	47 (11.3%)	143 (34.5%)	95 (22.9%)	120 (28.9%)	19 (4.6%)	124 (29.9%)	60 (14.5%)	12 (2.9%)
中学校 1年生	46 (22.4%)	65 (31.7%)	50 (24.4%)	33 (16.1%)	19 (9.3%)	67 (32.7%)	33 (16.1%)	4 (2.0%)
中学校 2年生	61 (23.1%)	82 (31.1%)	47 (17.8%)	31 (11.7%)	41 (15.5%)	76 (28.8%)	48 (18.2%)	8 (3.0%)
中学校 3年生	67 (25.7%)	69 (26.4%)	52 (19.9%)	23 (8.8%)	40 (15.3%)	88 (33.7%)	48 (18.4%)	3 (1.1%)
中学校 生計	174 (23.8%)	216 (29.6%)	149 (20.4%)	87 (11.9%)	100 (13.7%)	231 (31.6%)	129 (17.7%)	15 (2.1%)
小中学生 合計	221 (19.3%)	359 (31.4%)	244 (21.3%)	207 (18.1%)	119 (10.4%)	355 (31.0%)	189 (16.5%)	27 (2.4%)

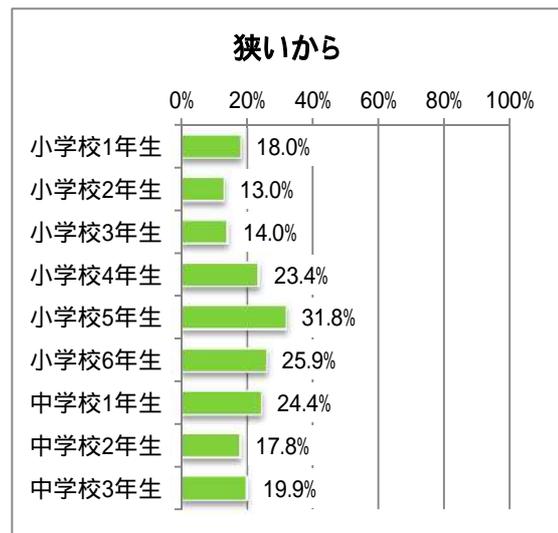
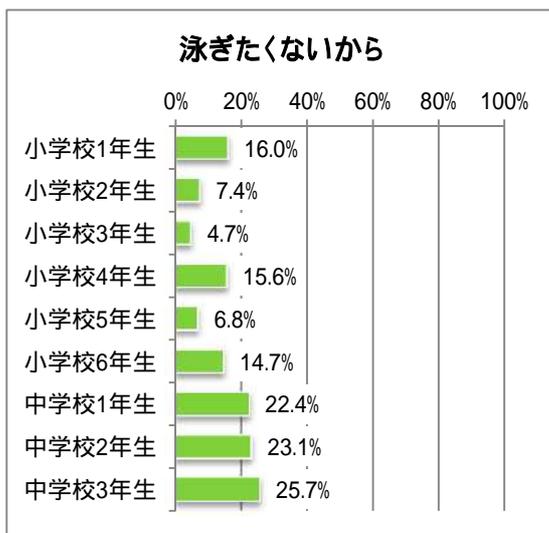
【回答者数】1,145 【総回答数】1,721 複数回答のため、割合の総和は100%を超えます。

- ・ 学年を問わず、「汚いから」と「夏休みに、学校に行きたくないから」という理由が比較的多くなっています。
- ・ 学年が上がるにつれて、「遊具がないから」の割合は、減っていきます。
- ・ 中学生になると、「泳ぎたくないから」の割合が増加します。
- ・ 小学校高学年では低学年に比べて、「狭い」の割合が大きくなっています。これは、身体的な変化（成長）もプールの利用に影響を与える一因と考えられます。

【学校プールの一般開放に行きたくない理由として多い回答】

	1位	2位	3位	4位	5位
小学校1年生	遊具がないから	夏休み中に学校に行きたくないから	汚いから	狭いから	泳ぎたくないから
小学校2年生	汚いから	遊具がないから	夏休み中に学校に行きたくないから	狭いから	プールが嫌いだから
小学校3年生	夏休み中に学校に行きたくないから	汚いから	遊具がないから	狭いから	プールが嫌いだから
小学校4年生	汚いから	夏休み中に学校に行きたくないから	遊具がないから	狭いから	泳ぎたくないから
小学校5年生	汚いから	狭いから	夏休み中に学校に行きたくないから	遊具がないから	プールが嫌いだから
小学校6年生	汚いから	夏休み中に学校に行きたくないから	狭いから	遊具がないから	プールが嫌いだから

中学校1年生	夏休み中に学校に行きたくないから	汚いから	狭いから	泳ぎたくないから	遊具がないから
中学校2年生	汚いから	夏休み中に学校に行きたくないから	泳ぎたくないから	プールが嫌いだから	狭いから
中学校3年生	夏休み中に学校に行きたくないから	汚いから	泳ぎたくないから	狭いから	プールが嫌いだから



理想とするプールについて

どのようなプールであれば行きたいと思いますか。(は3つまで)

	広くて泳ぐ練習ができる	泳ぎ方を教えてくれる	自由に遊べる	子どもだけで遊べる	浮き輪などの道具で遊べる	すべり台などの遊具がある	きれい	足がつく	家の近く	室内(温水)	無回答
小学校 1年生	238 (34.3%)	232 (33.5%)	354 (51.1%)	147 (21.2%)	212 (30.6%)	307 (44.3%)	229 (33.0%)	58 (8.4%)	111 (16.0%)	100 (14.4%)	4 (0.6%)
小学校 2年生	272 (38.5%)	197 (27.9%)	371 (52.5%)	153 (21.7%)	168 (23.8%)	338 (47.9%)	280 (39.7%)	43 (6.1%)	106 (15.0%)	100 (14.2%)	1 (0.1%)
小学校 3年生	264 (38.2%)	148 (21.4%)	395 (57.2%)	151 (21.9%)	159 (23.0%)	341 (49.3%)	292 (42.3%)	32 (4.6%)	81 (11.7%)	136 (19.7%)	3 (0.4%)
小学校 4年生	229 (34.0%)	141 (21.0%)	383 (56.9%)	139 (20.7%)	154 (22.9%)	316 (47.0%)	305 (45.3%)	16 (2.4%)	105 (15.6%)	147 (21.8%)	1 (0.1%)
小学校 5年生	217 (34.5%)	87 (13.8%)	388 (61.7%)	113 (18.0%)	156 (24.8%)	279 (44.4%)	304 (48.3%)	8 (1.3%)	82 (13.0%)	146 (23.2%)	3 (0.5%)
小学校 6年生	178 (30.1%)	59 (10.0%)	366 (61.8%)	113 (19.1%)	130 (22.0%)	235 (39.7%)	295 (49.8%)	6 (1.0%)	84 (14.2%)	175 (29.6%)	6 (1.0%)
小学生 合計	1,398 (35.1%)	864 (21.7%)	2,257 (56.7%)	816 (20.5%)	979 (24.6%)	1,816 (45.6%)	1,705 (42.8%)	163 (4.1%)	569 (14.3%)	804 (20.2%)	18 (0.5%)
中学校 1年生	181 (30.5%)	59 (9.9%)	367 (61.9%)	52 (8.8%)	125 (21.1%)	206 (34.7%)	366 (61.7%)	9 (1.5%)	73 (12.3%)	198 (33.4%)	4 (0.7%)
中学校 2年生	170 (32.3%)	48 (9.1%)	307 (58.3%)	31 (5.9%)	109 (20.7%)	173 (32.8%)	327 (62.0%)	9 (1.7%)	33 (6.3%)	197 (37.4%)	9 (1.7%)
中学校 3年生	140 (30.0%)	44 (9.4%)	255 (54.6%)	20 (4.3%)	86 (18.4%)	116 (24.8%)	296 (63.4%)	4 (0.9%)	55 (11.8%)	157 (33.6%)	14 (3.0%)
中学生 合計	491 (30.9%)	151 (9.5%)	929 (58.5%)	103 (6.5%)	320 (20.2%)	495 (31.2%)	989 (62.3%)	22 (1.4%)	161 (10.1%)	552 (34.8%)	27 (1.7%)
小中学生 合計	1,889 (33.9%)	1,015 (18.2%)	3,186 (57.2%)	919 (16.5%)	1,299 (23.3%)	2,311 (41.5%)	2,694 (48.4%)	185 (3.3%)	730 (13.1%)	1,356 (24.3%)	45 (0.8%)

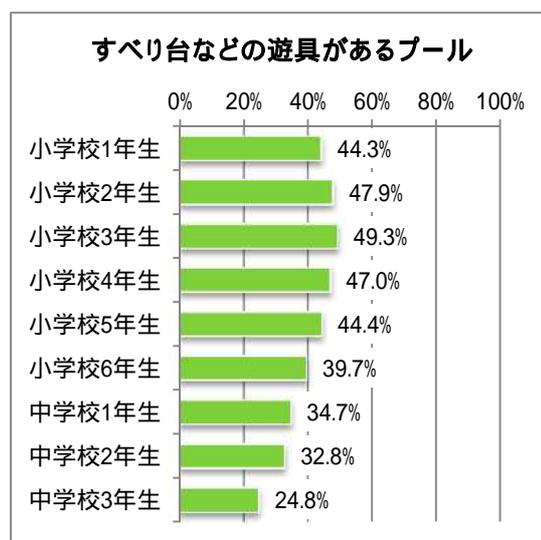
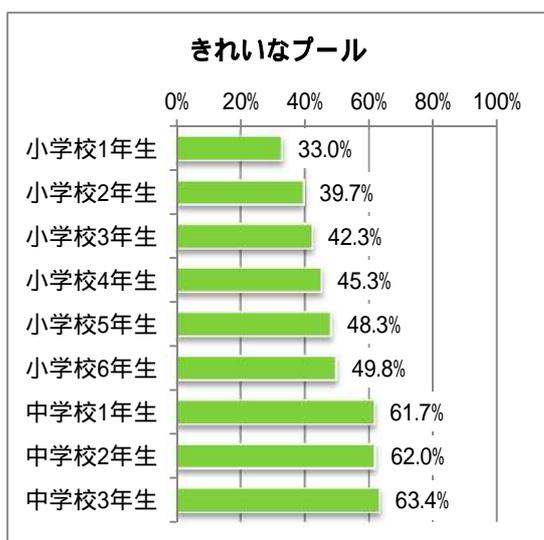
[回答者数] 5,571 【総回答数】 15,629 複数回答のため、割合の総和は 100%を超えます。

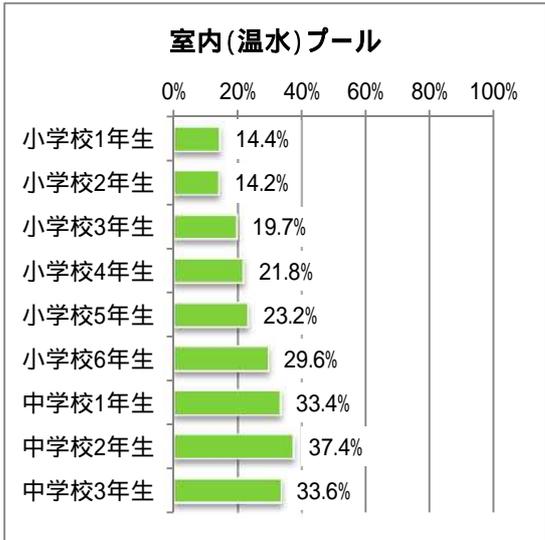
- ・ 学年を問わず、「自由に遊べる」プールが求められています。
- ・ 学年が上がるにつれて、「きれい」なプールを求める割合が増加します。
- ・ 小学生は「すべり台などの遊具がある」プール、中学生は、「室内(温水)」のプールを求める割合が比較的高くなっています。

【理想とするプールとして多い回答】

	1位	2位	3位	4位	5位
小学校1年生	自由に遊べる	すべり台などの遊具がある	広くて泳ぐ練習ができる	泳ぎ方を教えてくれる	きれい
小学校2年生	自由に遊べる	すべり台などの遊具がある	きれい	広くて泳ぐ練習ができる	泳ぎ方を教えてくれる
小学校3年生	自由に遊べる	すべり台などの遊具がある	きれい	広くて泳ぐ練習ができる	浮き輪などの遊具で遊べる
小学校4年生	自由に遊べる	すべり台などの遊具がある	きれい	広くて泳ぐ練習ができる	浮き輪などの遊具で遊べる
小学校5年生	自由に遊べる	きれい	すべり台などの遊具がある	広くて泳ぐ練習ができる	浮き輪などの遊具で遊べる
小学校6年生	自由に遊べる	きれい	すべり台などの遊具がある	広くて泳ぐ練習ができる	室内(温水)

中学校1年生	自由に遊べる	きれい	すべり台などの遊具がある	室内(温水)	広くて泳ぐ練習ができる
中学校2年生	きれい	自由に遊べる	室内(温水)	すべり台などの遊具がある	広くて泳ぐ練習ができる
中学校3年生	きれい	自由に遊べる	室内(温水)	広くて泳ぐ練習ができる	すべり台などの遊具がある





資料6 用語集

カ行

学校施設

学校を運営する上で必要となる建築物や設備を備えた施設のこと。具体的には、校舎や校庭、体育館、プールなどがある。

公共施設マネジメント

市民共有の財産である公共施設をより良い状態で未来に引き継いでいくため、総合的かつ長期的な視点に立った施設の維持管理及び活用を図っていくこと。

サ行

最適化

施設の規模や機能、サービスのなどを検証し、財政状況や利用状況に応じた適切な水準に見直していくこと。

事務事業点検

限られた財源の有効活用を図るため、市が実施している事務事業の必要性、妥当性等について、公開の場で第三者による点検を行うこと。なお、平成23年度から平成25年度までの3年間にわたって実施された。

社会教育登録団体

社会教育や学習活動を目的とし、自主的に活動を行う市内団体のうち、教育委員会が定める登録基準を満たしていることが認められた団体のこと。

水泳指導

夏休み期間中の学校プールにおいて、授業とは別に、児童生徒の泳力向上を目指して行われる水泳指導のこと。

総合学習

正式名称は、「総合的学習の時間」といい、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどを目指した授業のこと。

夕行

長寿命化

老朽化した施設を、将来にわたって長く使い続けるため、単に物理的な不具合を直すのみではなく、建物の機能や性能を求められる水準まで引き上げること。

特別教室

教科別、用途別に用意される教室のこと。具体的には、図書室や音楽室、家庭科室などがある。